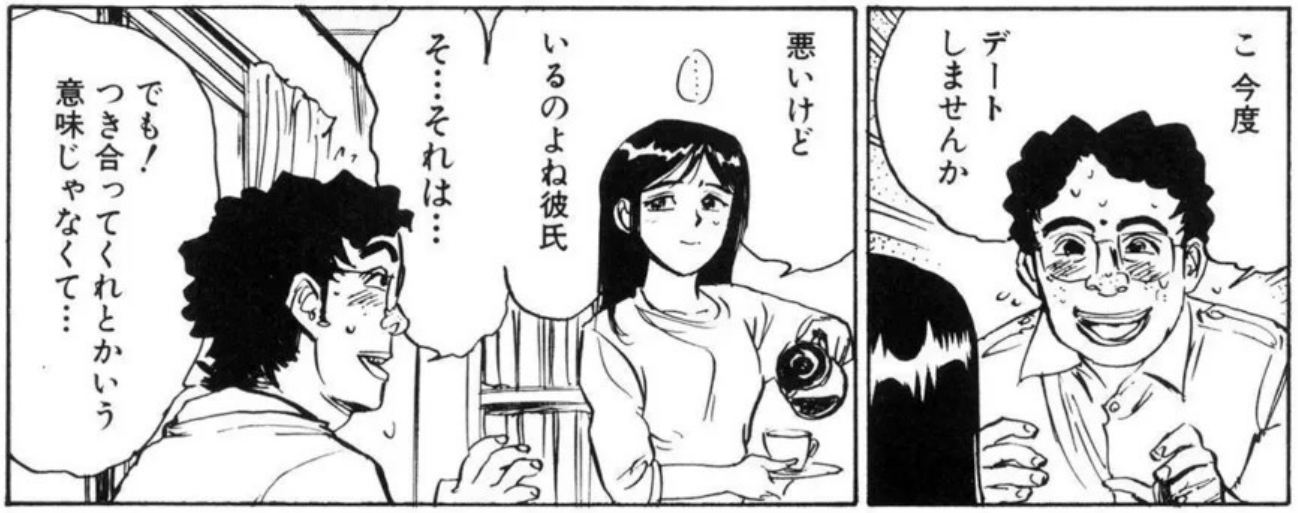

監禁凌辱
桃山ジロウ
新装版


家庭教師


ボクって二浪だしィ
年上の同級生って話しづらいかなあって
郁美さんの大学にもいるでしょ
ははは
別に…
そんな心配必要ないでしょ
SM
あんたはどうせ落ちるんだから
それ以前に友達が出来るのかしらねェ
……
ふん


こんな問題が分からないの!?
臭いわ…
いつもザーメンの臭いがする
髪もベトベトだし
今の所もう一度やり直して
ふふっ
この馬鹿…
きっとあたしのことも想像で犯したりするのよね


コーヒーおかわり入れますよ
…
いいわ
自分でやるから


こ今度デートしませんか
悪いけど
いるのよね彼氏
そ…それは…
でも！つき合ってくれとかいう意味じゃなくて…


ボクって…父さんと二人きりだから
兄弟みたく話せる人が欲しくて…
はは…
しつこいわね
素直に諦めたら？
あたし本当はイヤイヤ来てるのよ利夫くん
吐き気がするしカオも見たくないの
！


センズリなら一人でやって頂だい
残念だよ
ニヤ
……そう
ゴゴゴ
!?
快く承知してくれたら何もしないつもりだったけど…
ヨロ
な…何を入れたの!?
ウフフ
来ないで
ちょっと…
イヤッ
誰かあッ
SM美術
ザ・調教!!
!


ボクに何をサレルカ
眠ったら最後
ホラ…早く逃げなきゃ
あ……
お…お願い
なにも…しないで
ムフフフ
かわいい郁美ちゃん
うまく調教するよ
必ず僕のモノになるからね
だ…誰がアンタ…なん
フフフ


ウ…
やっと
起きたね
ニヤ
ウウッ
ウ
ギリッ


ウッ
ウッ
ウーーッ
フフフ
叫んでもムダだよ
ここはガレージの
地下室さ
ウウッ
ウッ
ウー
ムフフ
きれいなピンクだ
ウ…
まっ赤に
ふくらんで
きたよ
皮から
カオを出して…
ホラッ
ウウッ
怒ったカオ
したってダメさ
本当は
感じてるん
だろう
フウッ
……
ウ
ンー
ンフッ
アッ
フフフ


…まずはコイツで！
フフフそろそろいいかな


怖がらなくていいよ
ウッ
ギッ
ギシッ
ウッ
すぐによくなるからね
ウッ
ブ
ブ
……ウ
ブシュシュシュ
ギキキ
アウ…
ンンン


ンフフッ
ン
ンッ
ああ…


ンッ
ンッ
ギッ
ふふふ
そう――れ
そう――れ
ヌルッ
きもちよさそう
だなァ
ンッ
ンンッ


ウッ
ギッ
ギギ…
ヌルッ
ンウッ


い…イク…
イカされるッ
こんなヤツに
……！


ンオ…ッ


フフフ
僕をバカにする
女には
イカせないよ
調教の意味が
ないだろう？


最後までイキたかったら
奉仕するんだ
……

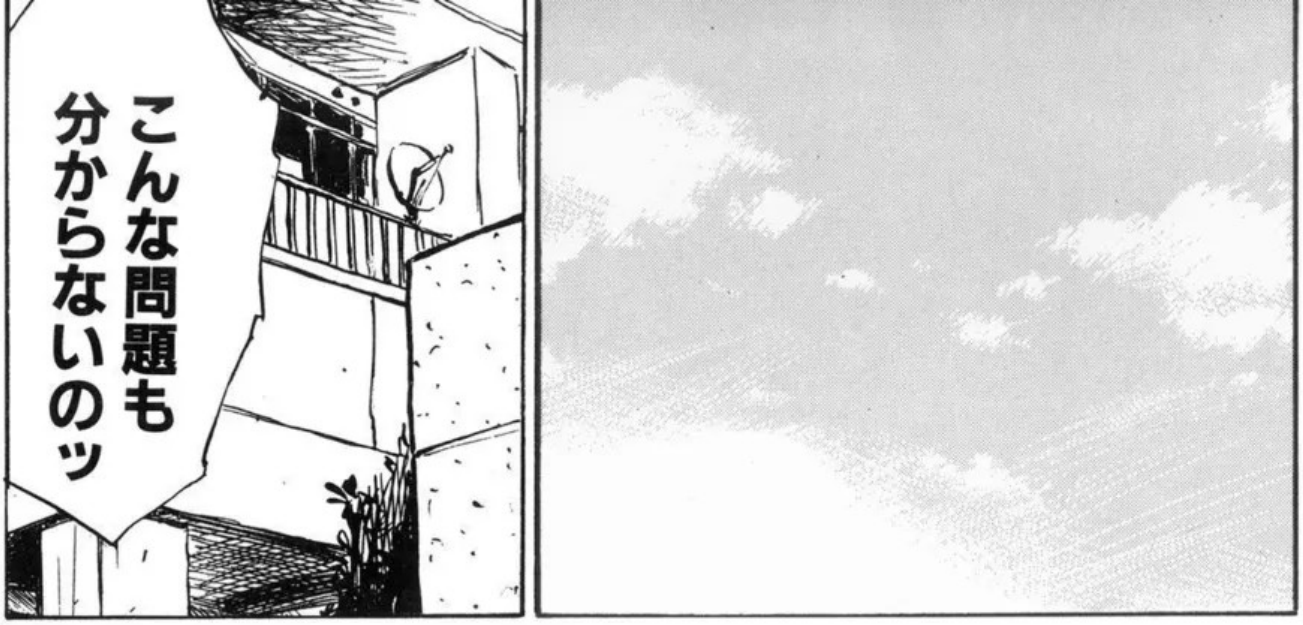

ふふふ
いいぞ
心を込めて
するんだ
チュッ
……
チュルル
！
ヌプ
ヌプ
ズブ
いっ
痛エ――ッ
この…
！
よ…よくも
僕を
怒らせたな


だ…だから何よ!?
かかって来なさいよッ
ちょっと!?
武器なんて卑怯なマネ…
ハッ
あ
あ…
そんな…
アッ
イヤ…ひっ卑怯よッ
……く

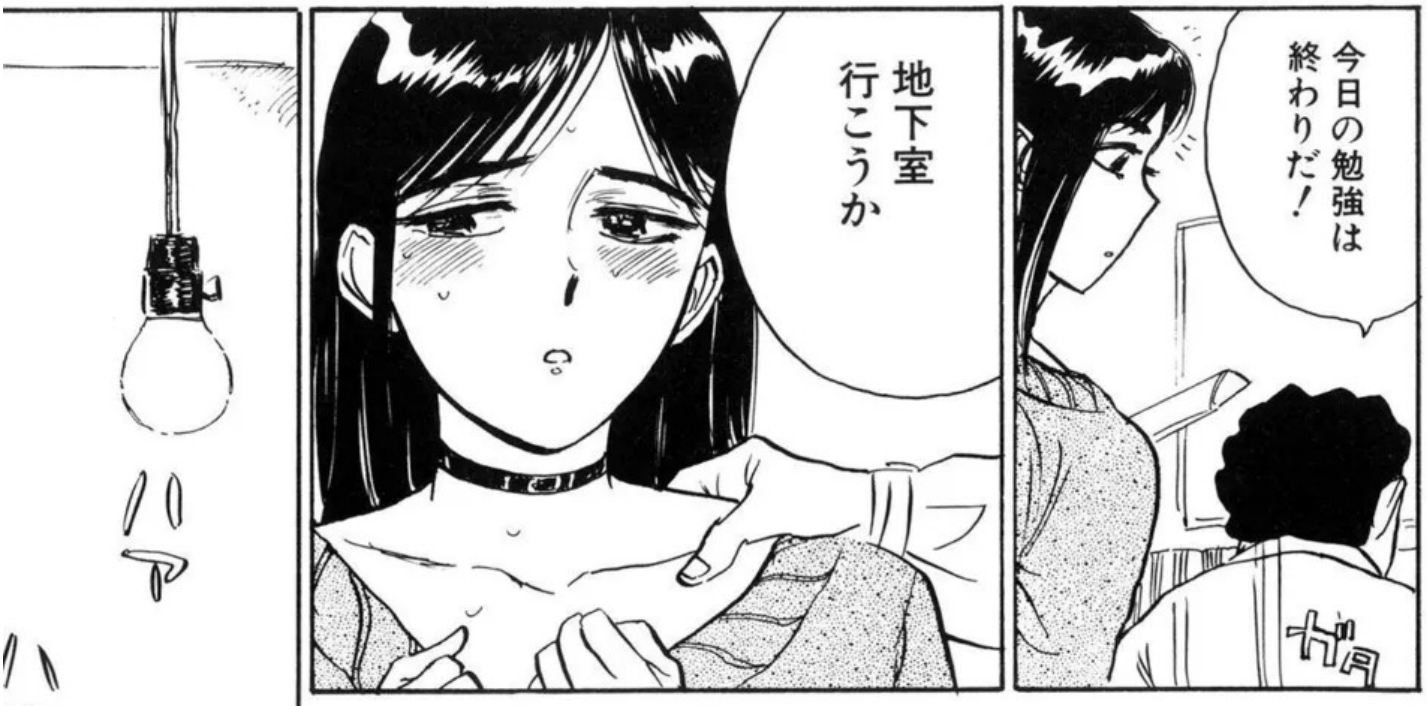

ギシ…
イヤーッ
キリ
キリ
キリ
う
あ…
アッ
ズルッ
すうう
ほあー
あ謝るから…
言うことききますから……
あ…
いつイヤ
アアッ


あっ
あイッ
熱いい
熱いよォ
――ッ
…
お願い…
殺さないで
グズッ
ククク 本気で
言ってんのか
こんなに
濡れたクセによ
くわえろ


ンン…
ヌル
ンン…
ピチョ
ちゅ
ンッ
ンンッ
ンウッ
ぺろぺろ
ツプ
ぺ
ンフフ
ンフフ


こんな問題も
分からないのッ


……
ほんとに
バカなん
だから
それで大学
入ろうって
ところが
バカよね


今日の勉強は
終わりだ！
地下室
行こうか


ふふ…
キレイだぞ
郁美
ンッ
ンッ
ウ…
ウウウ
…さあ
今度は
僕が教える
番だよ
おわり


監禁凌辱


ピチョン。
う…
やっとお目覚めかい 刑事さん
いや…麻薬捜査官って言うのか
な?何よソレ!?
あたしはただクスリが欲しくて…
じゃコレは何だ
チャ
い…今頃大勢が包囲しているハズよ
おとなしく投降なさい!
ゲヘヘ
モミ
モミ
発信機ならとっくに死んでるぜ
ここは何処!?
だ 誰か…
ゲヘヘ 誰も来やしねェよ

こ こんな事して…！

アトで泣きをみるわよッ

ゲヘヘ

泣くのはお前だ

股間を濡らしてヒイヒイとな

あ…くっ

わ…笑わせないで

女一人さらうのに睡眠薬!?

私と勝負するのも怖いオカマ野郎

男なら力でモノにしたらどうなのっ

いいだろう

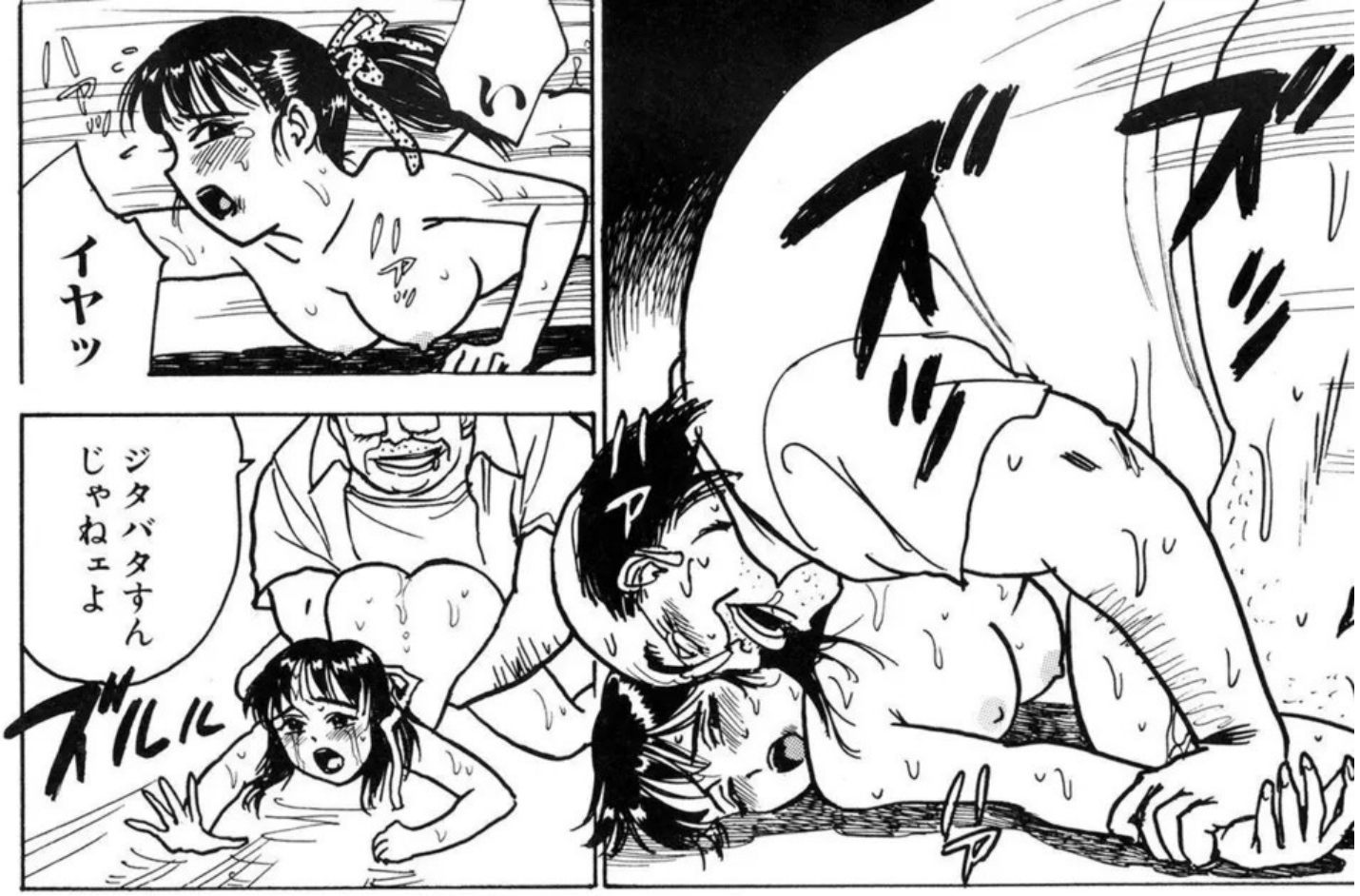
パラ

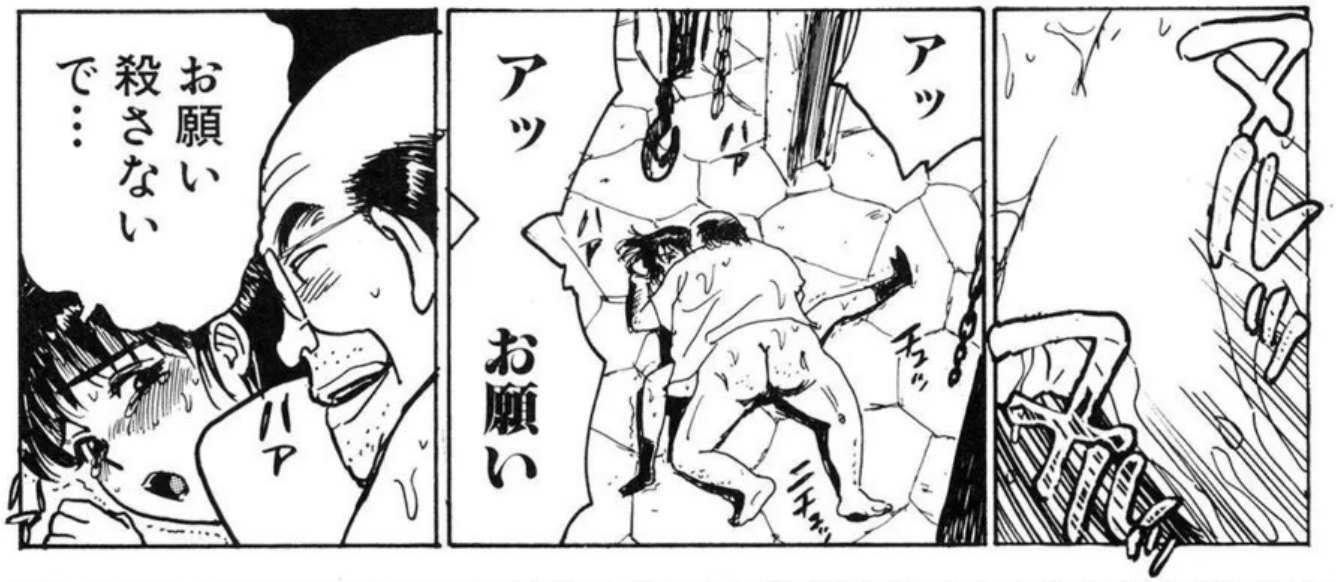

さあ！
立って
ホラ
立ちなさいよ
キュッ
キュッ


おごっ
ズッ
ガ


ゲヘヘ
しょせんは
女だな
くっ…
ヤ――ッ


軽いんだよッ
あッ
パンチが…
ゲヘヘ
なるほど…
力ずくってのも
悪くねェ
あ…
ア――ッ


イヤッ
い
ジタバタすんじゃねェよ
ズルル
ア


お願い殺さないで…
ハア
アッ
お願い
ハア
ハア
チュッ
ニチュッ


ゲヘヘッ殺す!?
殺すだなんてもったいねェ
女は生かしたまま玩ぶに限る…
まんべんなくジワジワとな
ああ…


おっと！
動くなよ
ヒヒヒ
感じるか？


さわ
さわ
は…
ぶるるる…
ア…
ゲへへ
どうした
声を出さんか


レキュ
あ…
あッ……
や……アン
やめ…てエッ
ニョリ
ニョリ
あうっ
アアッ


あっ…
ああ…
も…
もう
やめて
ゲヘヘ
やめてもいいが
入れちまったモンは
どうする
ヒヒヒ
抜く時は
もっと
イイぞ
ニュルル
アッ
ヌー
アアッ
ヤー
七


ヒヒヒ
おもらしか
ト…トイレ
行かせてェッ
コイツを尿道
に差してやる
ズ…
アッ
グへへ
タレ流しだ
そこで
ゴム管を
つなぐと…
アッ
アッ
アア…
ヒヒヒどうだ
自分の中に
放尿する気分
は
チュー
…ン…アッ
きもちい…
ゴゴ
グルルッ


この下にも地下室があるんだ
お願い出ちゃう
出るう——ッ
ゲヘヘ 今度はウンチか忙しいヤツだな
仲間に会わせてやる
ガチャ
ンッ
ンン
ウウ…


アハ…
ウアアアア
ア
アウウ


生きてる限り
快楽は続く


ゲヘヘ
きもちよさ
そうだろう


もちろん
死なしゃしねェ…
この管に栄養が
流れる仕組みだ


イヤなら
舌を噛め
ゆ
許して…


さぁ
オマエも
付けるんだ


チュッ
……
チュッ
ンン…
ふー
ふー
ククク
どうした？
言っとくが
隙をみて逃
げようとか…
考えても
手遅れだぞ
そいつには
クスリが塗っ
てある
一度味わえば…
もう それナシ
ではいられない
あの2人のようにな
続けろ
チュッ
チュッ


グへへ
欲しいだろう
ウウ…
ハア
ニヘラ
ニヘラ
今から
コイツに
乗せてやる
……
チャリ
くわえろ


ギッ
ンン…
ギッ
ンッ
ンン
ンッ
ククク
ギッ
ギッ
ギッ
いいぞ！
もっと揺らせ


少しずつ・・・クスリが染み出して
オマエはますます快楽の虜になる
ンウッ
ンウッ
ウィィィ
ハアア…
ンン
ふ
ふ
チュ
ふ
ンッ
ンン
ヘヘヘ
ンン…

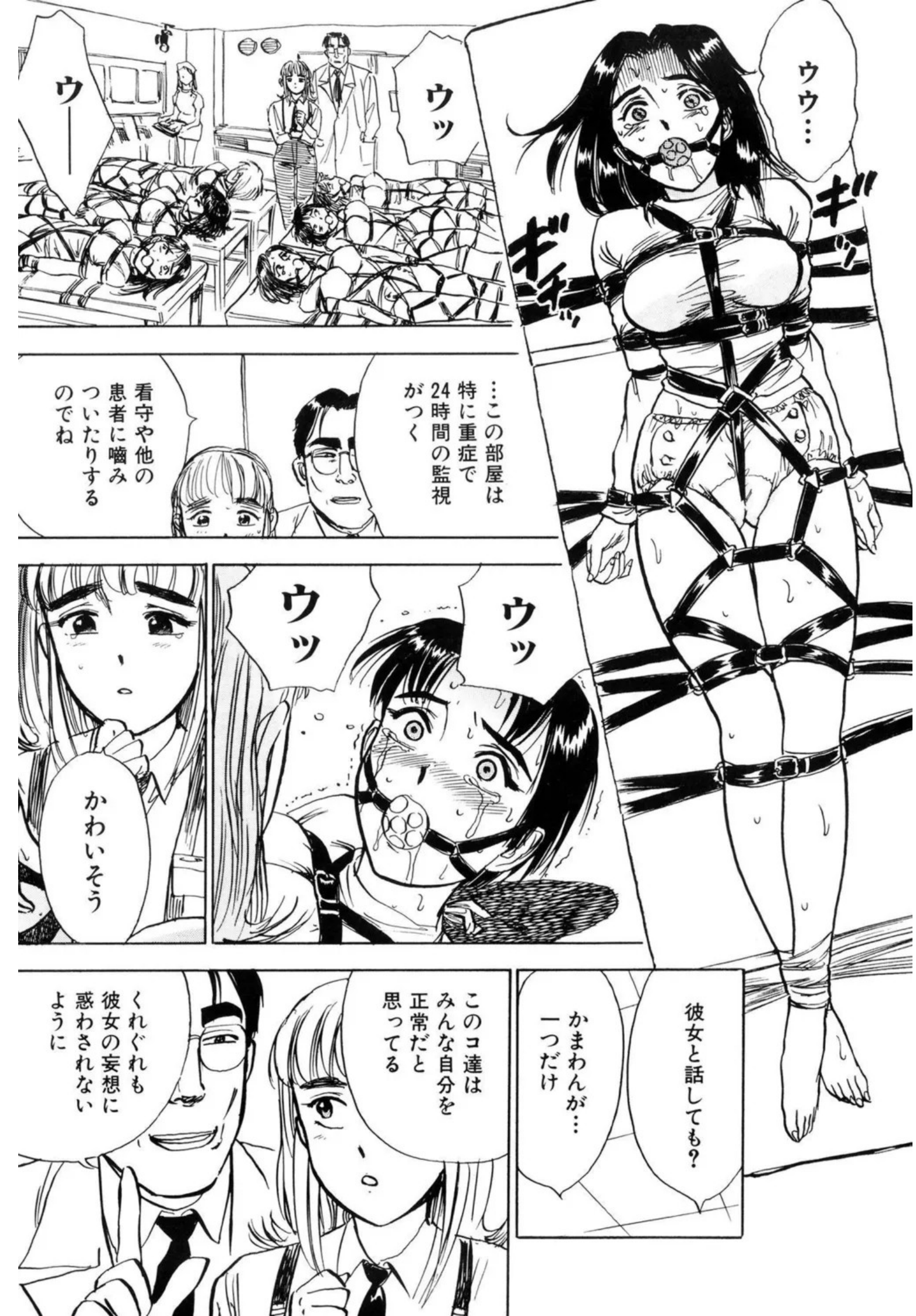

ンンッ
ニャ
ニャ
ふ…
き…
きもちいい
きもちいい
よォ——ッ
ンフウッ
ンッ
ンウウ
おわり


誰かッ
ハア
ハア
侵入不可
立ち入るには許可証が必要です
看護婦さん早く――！

病棟


は離して
ハア
ハア
病気なんかじゃないったら


ドアを閉めて
麻酔を！
イヤーッ
ガチン
一侵入不可一
立ちつるには許
可必要です
……
ガラ
ガラガラ
…よくもあの
監視をくぐり
ぬけたものだ
院長先生？
ありがとう
捕らえてくれて
ドアを開け
たらとび出して
来たので
とっさに…
患者を取材したいって
いうのは君だね？
たしかー小説家の…
新条です


ウウ…
ギッ
ギチッ
ウッ
ウー——
…この部屋は特に重症で24時間の監視がつく
看守や他の患者に噛みついたりするのでね
ウッ
ウッ
かわいそう
彼女と話しても？
かまわんが…一つだけ
このコ達はみんな自分を正常だと思ってる
くれぐれも彼女の妄想に惑わされないように


私の名前は
新条則子
あなたは？
早くここから
逃げた方が
いいわ
うまく逃げ
きれたら
助けを呼んで
ちょうだい


どうして？
あなたも
狙われてるわ
院長の悦楽の
餌食よ
看守も全員
院長の奴隷なの
それは大変
ね…


信じないで
しょうね…
私もそう
だったわ
オムツの上から
触って…


えっ
……
言ったでしょ
院長達に
いろんな…
さ 触れば分かるわ
手を握るフリをして
早く…！


……こう？
…
ピクッ
！
ヴヴヴヴヴヴ
そ そんな
ヴヴヴヴヴヴ
まさか…!?
ウ――ッ
ウウッ
にっ逃げて
プス
ウフフ
あ…


う…
我が病棟へようこそ則子くん
君も今日からここの住人だ
イヤ
あ
ギシッ
ギシ
あっ
ギッ
じょ冗談ですよねッ
あたし何も悪い事してないし
な 何でもしますからどうか…
イヤァ
ムギュ
誰かァ——ッ
うふふ忘れたの？ここは地下のシェルターにあるのよ
もみ
もみ


あ…ん
あッ
ウフフ
きれいにしといたから…
あら♡かわいい
いっイヤッ
ホントピンク色ねぇ
見ないで——ッ
でもこのクリちゃんは毎日いじめてるでしょう
イヤ見ないで
ハァ
ククク
見ないでぇ
いつもこの恥じらいが一番だな
ゴ?
だんだん失われてゆくのが惜しい…
やれ!
はい
いやァ——ッ
安心して♡あなたにはまだムリよ
!?
……


モリ
ウウ…
！
さっきの…
ククククかわい
そうになあ
もう少しで逃げ
られたのに…
キミのせいだ
彼女は罰を
受ける
ウウッ
そっち！
抱えちゃって
暴れるから
腰もよ
ウ――ッ
だ ダメよッ
お願い
許してあげて
――ッ
ウヴ
ンンッ
ンッ
ン
ンウウッ

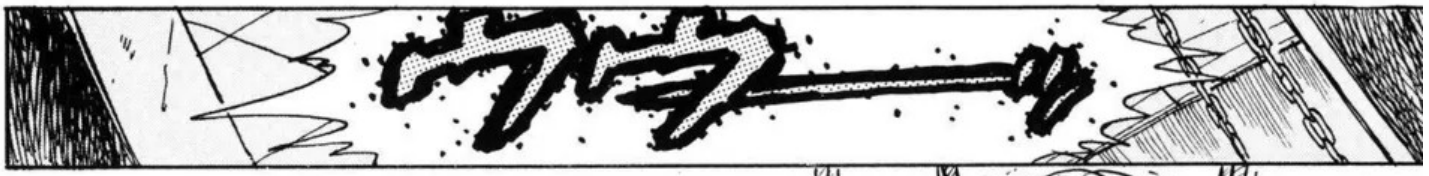

それじゃ
イッてらっしゃい♡
カチャ
……
ふー
ふー
ふー
ウウ…
キュ
ン…
ビチビチ
ピチ
ウウッ
ガキャ
ウッ
ガキャ
ガキャ
ウ――ッ


ウウ
ウウッ
ヒィィィ
シフッ
ンッ
フウウッ
ンーッ
ぷしゃ


ンウッ
ンウウン♡
ぷしゃ
消耗して
気絶するまで
あのままなの
自分じゃどう
にもできない
包活の快楽
逃げようと
もがけば更に
深くハマル
ここはそういう所…
彼女が捕まったのも
偶然じゃないの
そう
みんな戻って
くるのよ
必ず


だメッ
そんなにしたら…！
うふふ快楽に溺れるのが怖い
どのみちもう逃げられないのよ


行方不明？
…3時に帰られましたのよ
全員見てるから間違いないわ
お役に立てなくて…

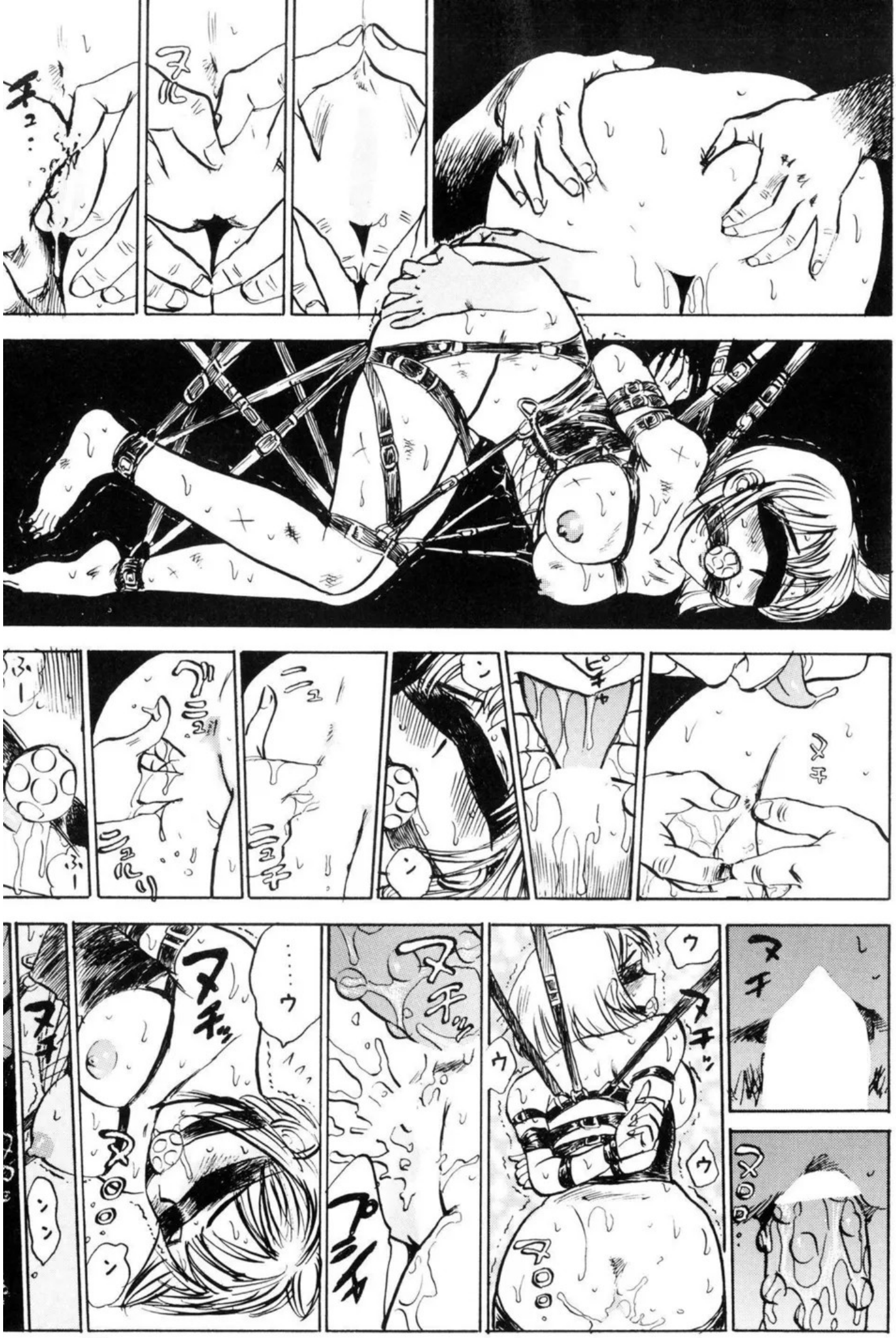

ウ〜〜


真珠入りなの♡
ヘビのお腹って触るときもちいいのよねー
女のオシッコが好きなんだって
ウッ
ウッ
ギシッ
ス〜ス〜
毒ないからネ
ニオイが…

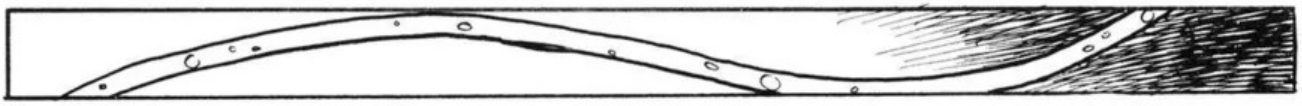

ンッ
フンンッ
ウウッ
ウ
ウ
チロ
チロ


ンン…
急に元気になったわ♡
湿った肉の穴ってヘビにもサイコーなのよきっと
じゃあもう一本
ウウ
やーん
見て！まだ入ってくわよ
うふふウンチで止まるから大丈夫よ
それっ！
ウウッ
ウッ
ウッ
斗二病棟
ママー
コラ！
指差すんじゃありません


うふふ知り合いがいても気づくかしらね
ウ…
ウウ
助けて
助けて
看護婦さんその人は？
あなた…
かわいそう
まだ知らないのね
第三病棟の患者さんよ
ウッウッ
カオがまっ赤…苦しそうだわ
舌を噛むからしかたないの
あらあらこのコ友達になって欲しいみたい
よかったら会いに来てあげて
ハイ


ヌチ
ヌチッ
ヌチッ
ヌチッ
ヌチッ
ヌチ
ヌロロ…
ヌロロ
ヌロロ
ウ
ウ
ウ
ウ
……ウ
ンン
ンン
ンン


ノックぐらい
したまえよ
ギシ
新しいコが
来てるの
かわいい
わよ
うむ
ヒク
ヒク
ヒク




…こんなに
ガマンしてた
のね……
イケない子♡
いイヤ
ああっ
おしおきよ
ほうーら
また…
ウィィー
ンン

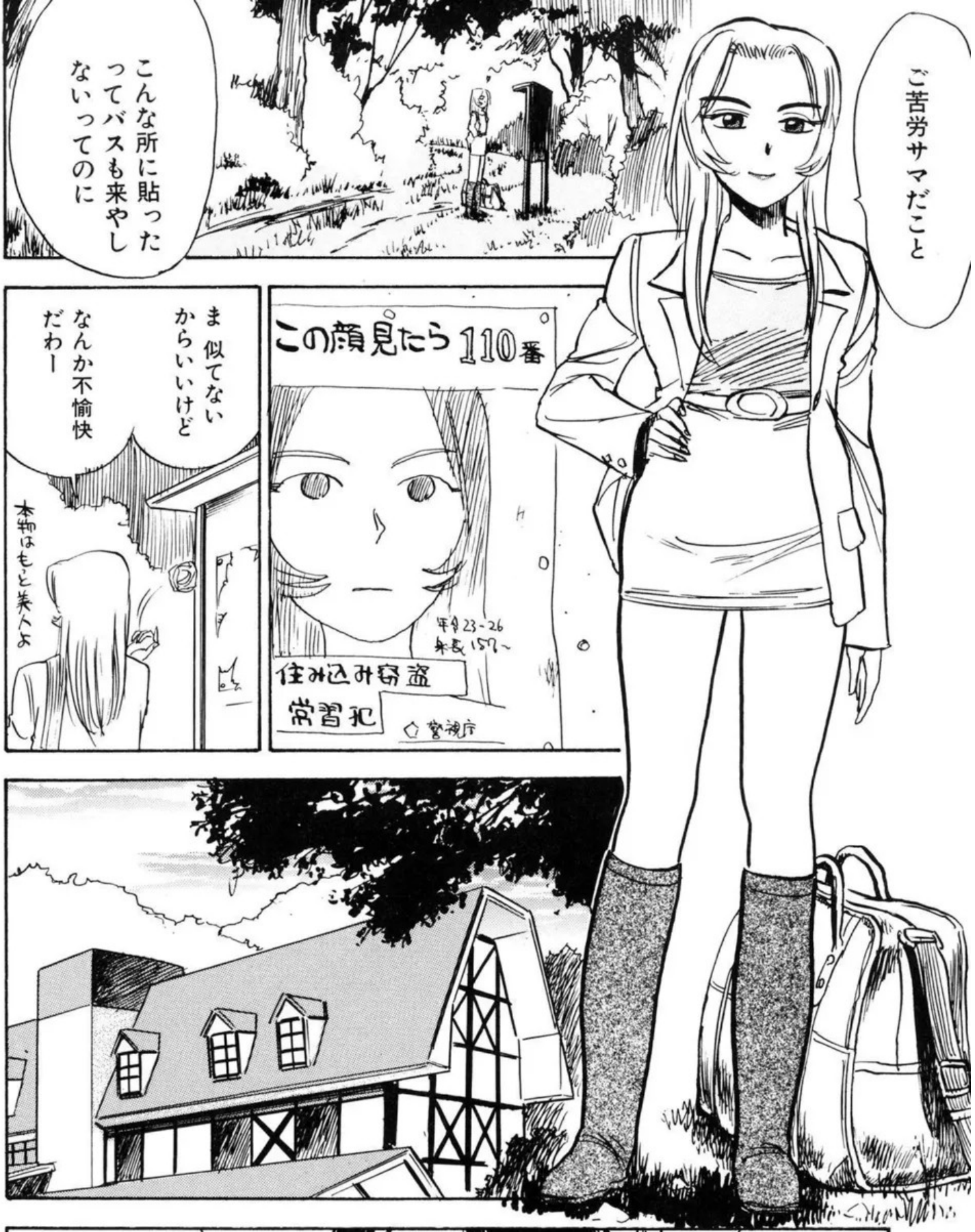
おわり


オシッコの
ふくろが
パンパンよ
イヤ
キュー
イヤ
イヤ——ッ
ウ
ンン


地下室の女



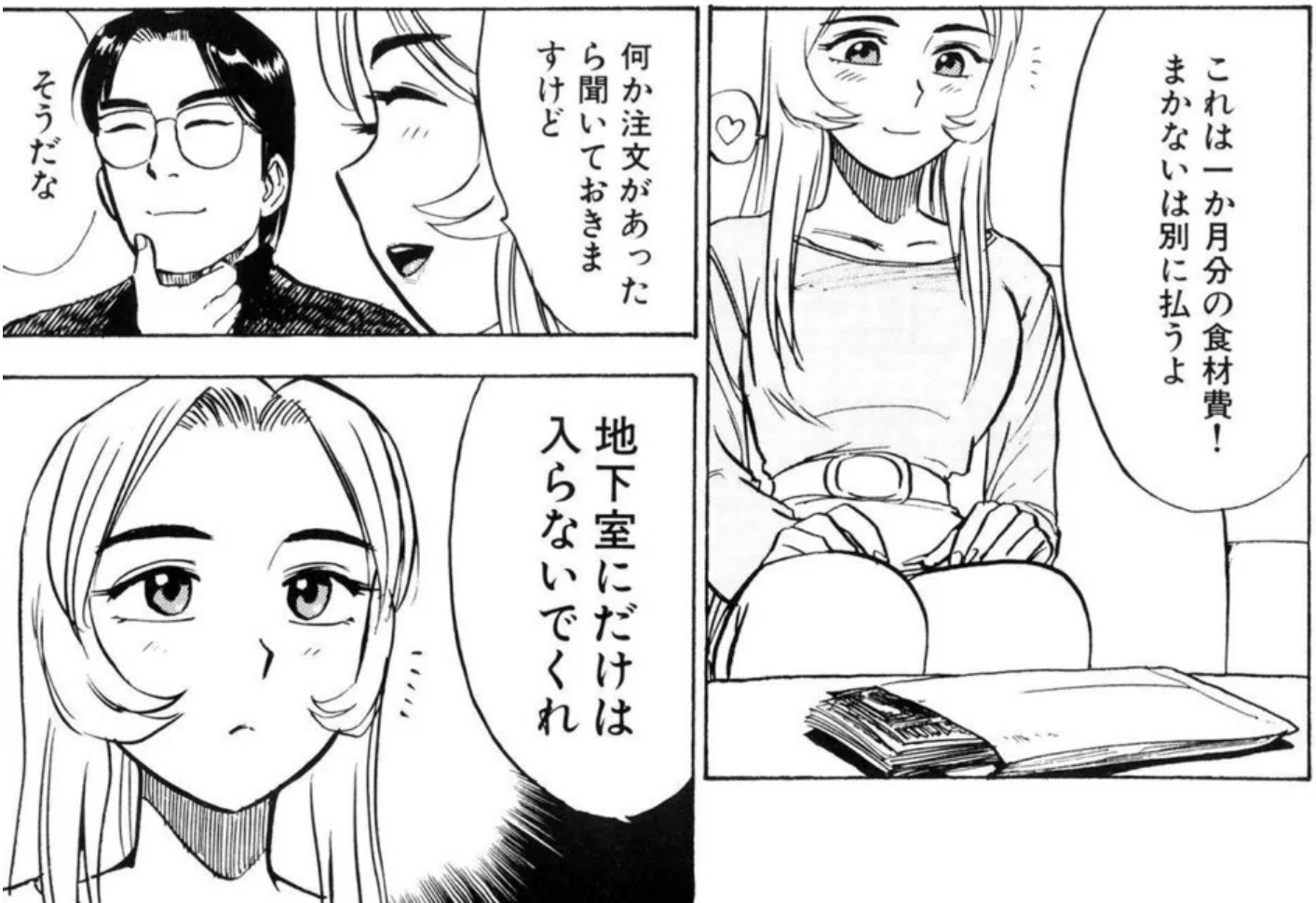


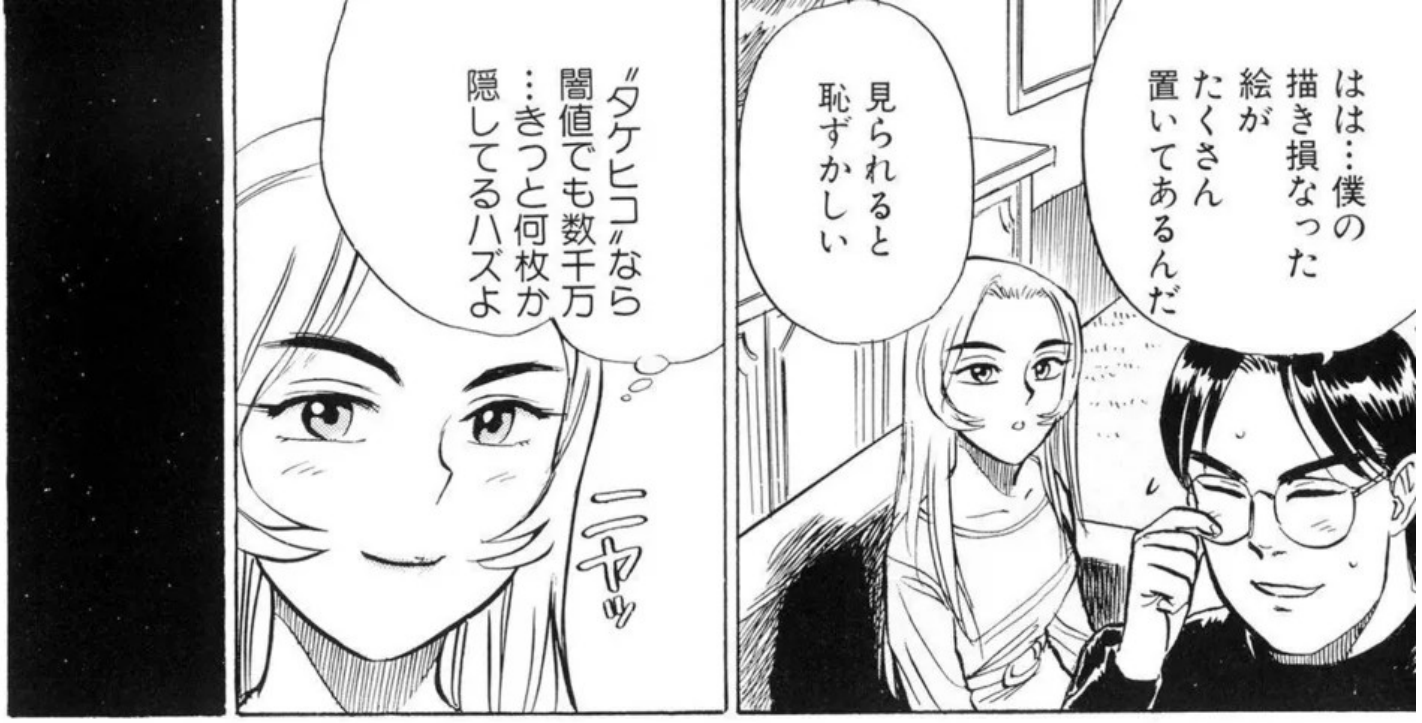

ご苦労サマだこと
こんな所に貼ったってバスも来やしないってのに
この顔見たら110番
年令23-26
身長157~
住み込み窃盗
常習犯
◇警視庁
ま似てないからいいけど
なんか不愉快だわー
本物はもっと美人よ

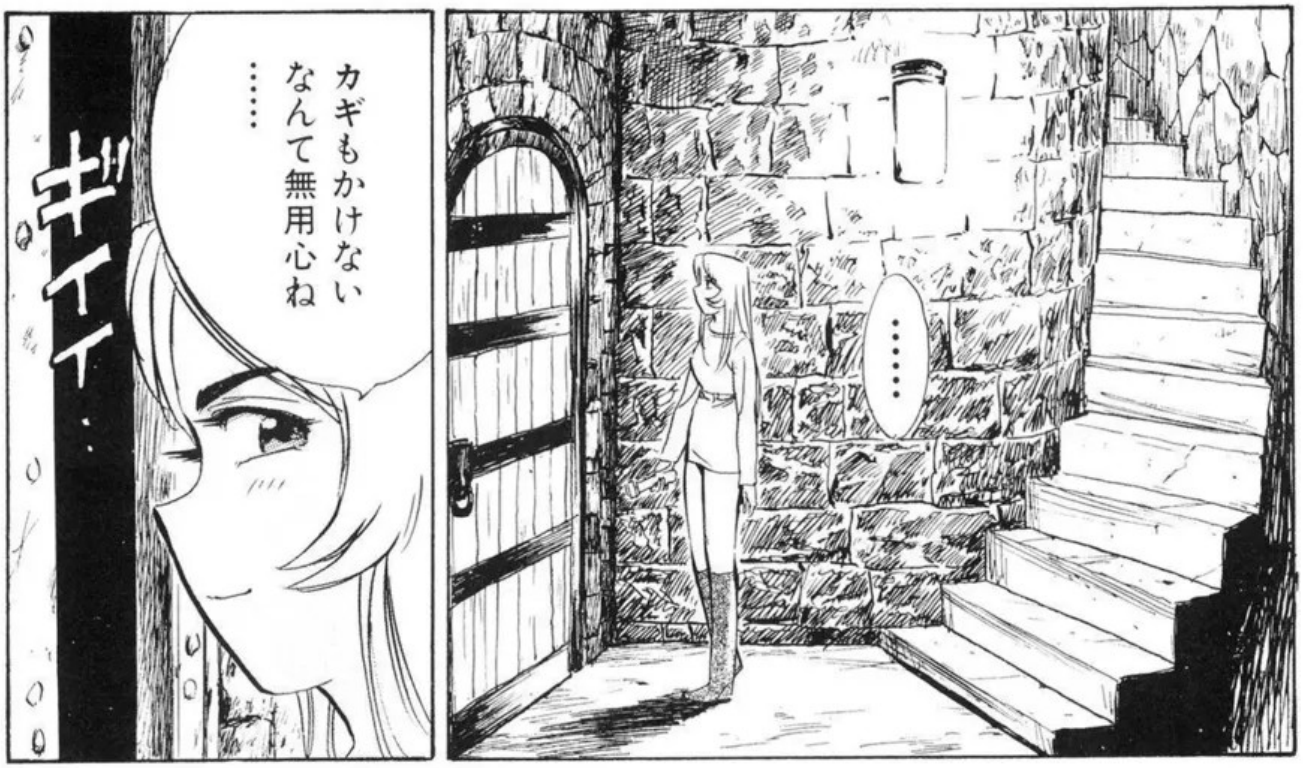

まさかこんな田舎に
君みたいなコが家政婦に来てくれるなんて

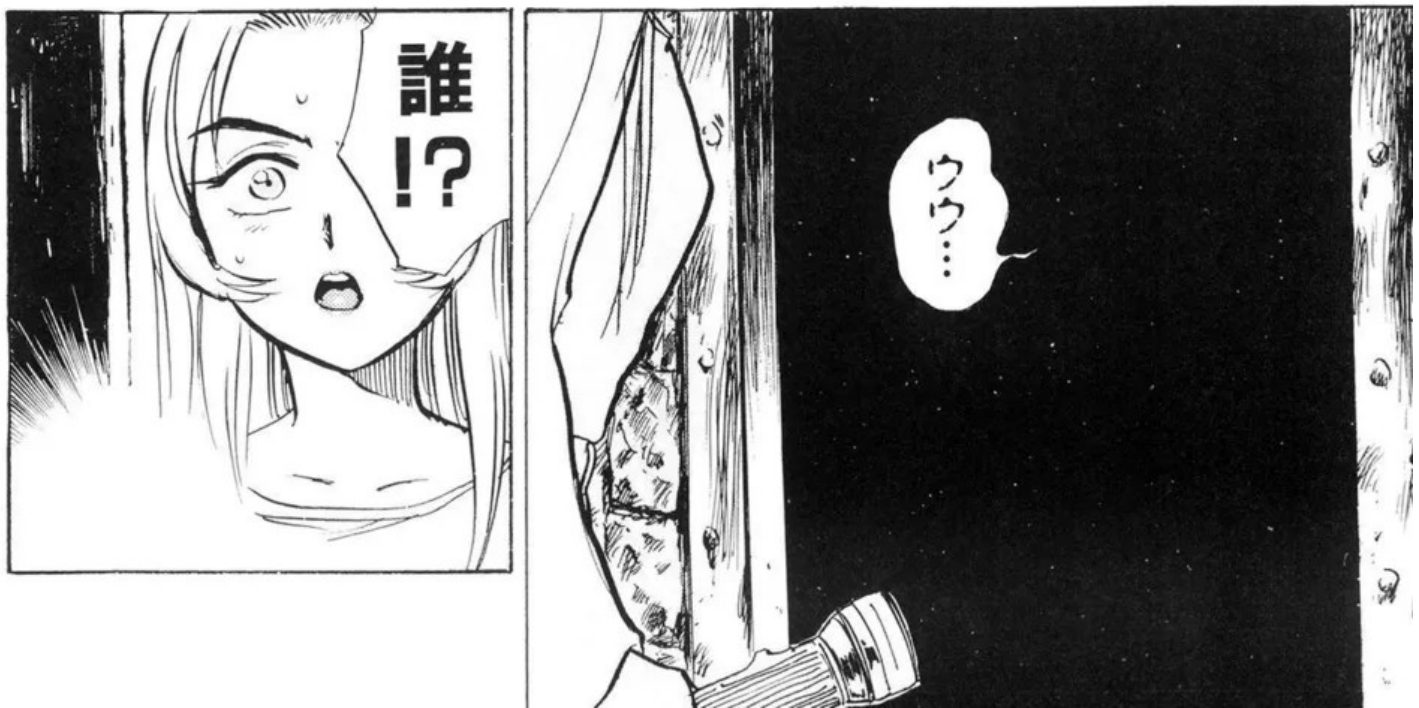

自然に囲まれた
静かな職場に憧れ
てましたの
はは…
給料が安いのは
カンベンしてくれ
オヤジと違って僕は
貧乏なんでね
ふん…売れない
三流画家か
他に目当てが無
けりゃこんな家
誰も来ないわよ


…たしか
お父様は有名な
方でしたわね
ああ〝タケヒコ〟の
作品が称賛を得
たのは本人が死んで
からさ
今じゃ高値がついてる
らしいけど…遺産は
この敷地だけで絵は
一枚も残ってないんだ


これは一か月分の食材費！
まかないは別に払うよ
何か注文があった
ら聞いておきま
すけど
そうだな
地下室にだけは
入らないでくれ


はは…僕の描き損なった絵がたくさん置いてあるんだ
見られると恥ずかしい
〃タケヒコ〃なら闇値でも数千万…きっと何枚か隠してるハズよ
ニヤッ


……
カギもかけないなんて無用心ね……
キィィ…


ウウ…
誰!?


ウ…
ギシ
ウウ
ンンン
！
ンッンッ


ング




ンン…
ンフウウ


な 何よコレ!?
見たな


ヒッ


あ…
ああ…
どうだ
感じるだろう
変態!!
ハアッ
ハア
こんな事が許されると思ってんのッ
許されなくて結構…調教の愉しみにはかえられん
キュ
イヤ…!
ムニュ
け 警察があたしを捜しに来るわよ


〝捕まえに来る〟の間違いだろう
！
し…知ってたのね!?
ふふ だから雇ったのさ 単独の窃盗犯は自分の軌跡を残さない
履歴書は全部ウソだし名前も偽名…
君がこの家に居る事は誰も知らないワケだ
スル


ここにいる全員には捜索願いも出ていない大きな借金を負った者家に寄りつかぬ不良娘……
犯罪者や身寄りが全くないなど…みんなワケありだからね


…君のように絵を狙って来るコも多いよ
〝人けのない田舎で男と2人きり……タダ同然の給料で世話してくれる若い女性〟求む！
ふふふ こうもうまくひっかかってくれるとは
そ そんな…
ああッ


はあッ
はあぁっ
チャリ・
ハアハア
メキ
メキ
メキ
あっ あっ
ぶるるっ
いっ イヤやめてェ！
おかしくなっちゃうぅ
ガチャ
ガチャ
ふふ 本当のことを
言ったらどうだ？
初めはみんな恥ずかしが
ってガマンする
……
ト…トイレに
行かせて


ダメだ ここでしろ
どうせ逃げようと
するからな
そんなッお願いよ
逃げたりしないわ
そうか…それじゃあ


あと100回耐えられたら行かせてやる
ま 待って…
！


あぁッ
いやあぁぁ
ふふふ


……
もうこんなにして…
君は最高の奴隷になるぞ
毎日この穴に注いでやる
ふふ…まんざら
でもないようだな
プ
プ。。
はあぁぁ
あっ

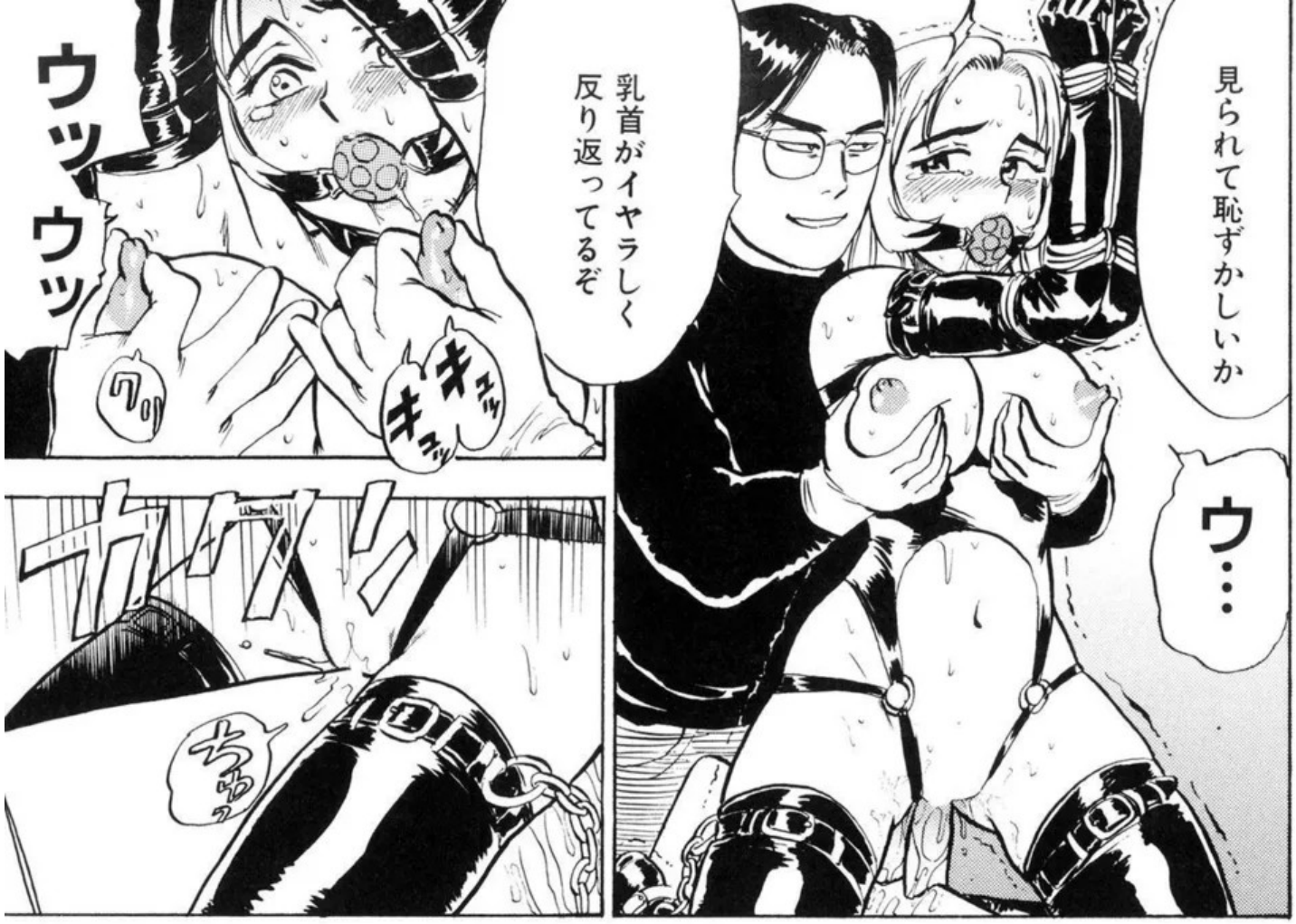

……
カチッ
自由にしてあげよう
スル
ウッ
ま 待てっ
あんたの
奴隷なんて
まっぴらよ
ガチッ
アアッ!?


あっああッ
イヤッ
何よコレ
は 外せない…!!


ふふふ
残念だったな
腰が抜けて
立つ事もできまい
と 止めて…
お願いイクゥ
君にはおしおき
が必要だ
あ――っ


……
ふふふ 君は
こんな恍惚の表情を見た事あるかい
グッ
ズル
!
ンン
ふふ ゴメンよ…アトでしてあげるからね
……
ウイィィ
このコのをごらん…オシリにもビラビラがあるだろう
君も開発してやればこうなる…性器の一つとして今まで以上の快感が得られるんだ
いイヤ…


ウッ
ウッ
ほうら…力を入れないと
また腰が下がってきたぞ
ウ…
ンウ——ッ
ふふふ 子宮の奥
に当たればバイブが
起動する
内臓をかき回す
ような快感が
疾(はし)る！

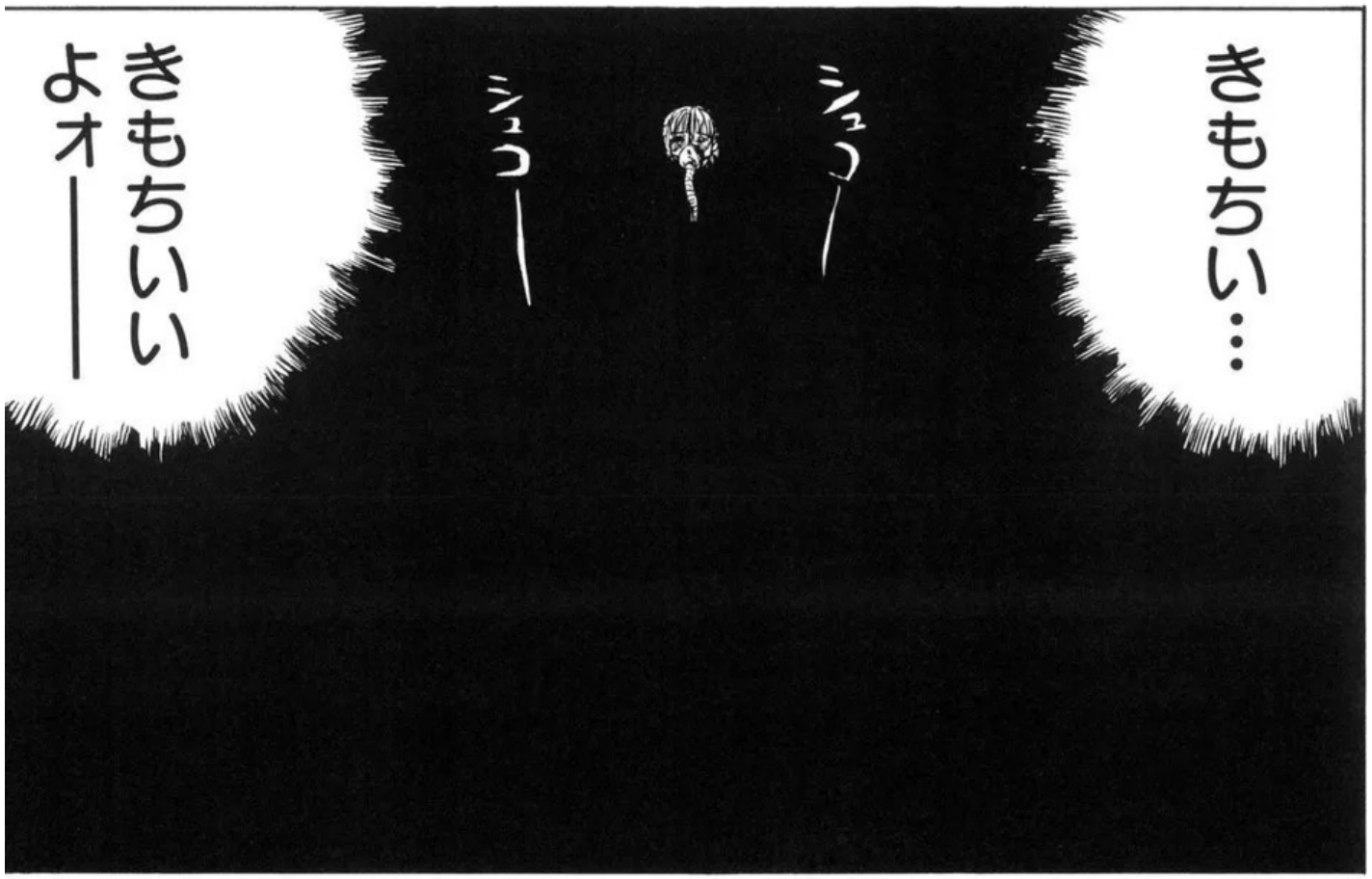

見られて恥ずかしいか
ウ…
乳首がイヤラしく
反り返ってるぞ
キュッ
キュッ
ウッ
ウッ

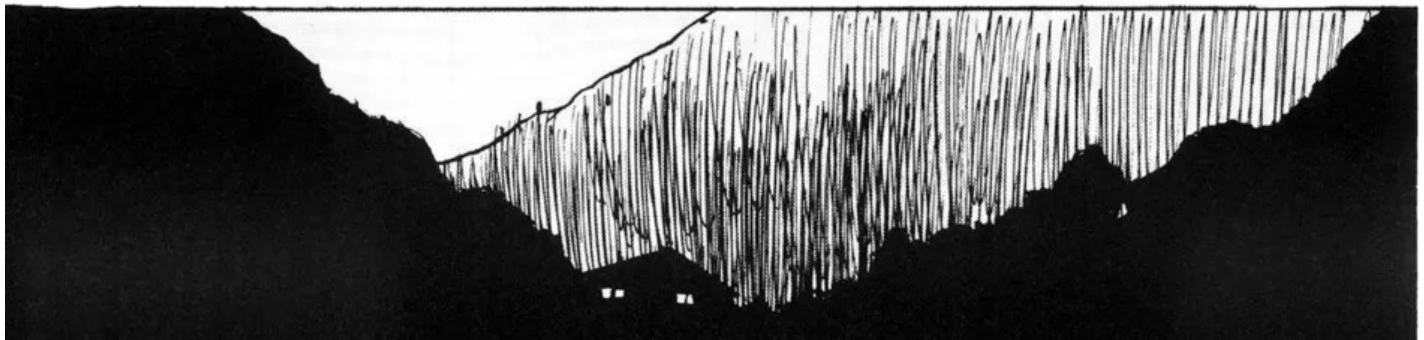

ウグッ
ウーーッ
ふふ イッたのか
……
しかし手足が痺れ
てもう上がれまい？
ガチャ
ガチャ
!!
ウッ
ウッ
ククク…
君はこのまま快楽
の虜となる


イヤッ誰か
誰か助けてェ——
……
おわり


ハアハア
きもちい…


…もう何時間
経ったんだろう
いつまで
続くんだろう
首から下が
まるで…
……！


きもちい…
シュコー
シュコー
きもちいいよオ――

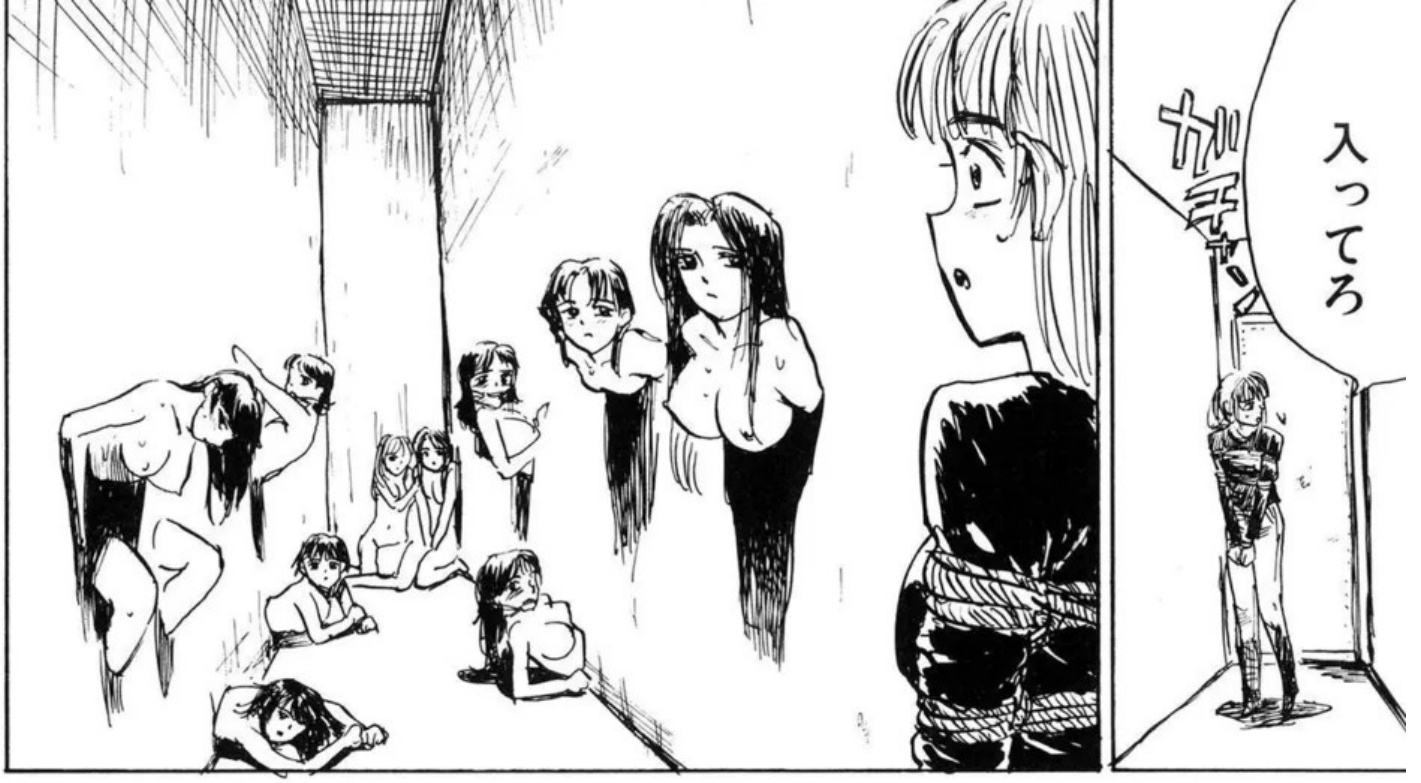



人形の館
A MANSION OF DOLL
気味が悪いわ
悪シュミだけどリアル
まるで本物…
まさか…
早く見つけなきゃ
…


ンン…
ンー——
フフフ いいぞ
もっと締めつけて
みろ
そこまでよ
……
はじめまして
そのコ…
松原トモエちゃんね
怪しいオトコとつき合って
そのまま行方知れずだって…
ご両親が心配なさってるの
良家の娘がSM好きじゃ
マズイのよね悪いけど…
ククク
お前
興信所か


この場所は
もう誰かに
しゃべったか
！
あっ
トモエちゃん!?
何をするのッ
コイツは
調教済みでな
主人の為なら
なんでもする
ニヤ
…いいものを
みせてやろう
ガチャ


ククク
ただのSM好きとは
…手抜き調査だな
ンッ
ンウッ
俺の仕事は
人形を売ることだ
快楽にのみ忠実な
肉の人形をな
じ 人身売買…
お前はたっぷりと
時間をかけて…
最高の人形に
仕上げてやる


入ってろ
ガチャン


ふふ…
こうして少しずつ調教されるのよ


…これは一体!?
もう絶対に逃げられないわ
かわいそう…


か 壁のッ
向こう…でェ
イ…ヤッ
ウ――ッ


ア ア…
う…


た 助けて
ハァ
ハァ
どうしたの!?
苦しいのッ


ンウンン
ウ――ッ
やめて…！
お願い
やめて
――ッ
大丈夫
しっかり
して
2人共
手伝って！
みんなで
引っ張るの
よッ
アアッ
アッ
イッ
あ――
イヤ…
あう
はあうっ
ヒイィ――ッ


はあァ
いいイ
アッア
もっと…
はっはひッ…
な
何するのッ
離して
あっイヤ
イヤッ
やめて…
……


ハア
ハアア
アッ
ア
アア
ウィー
ウィィ
…どうだ
して欲しく
なったろう
別に…
見てたぞ


あ…
フフフ
期待に震え
てるな…？
これから何を
されるか…
アッ
ア…
ククク
早くほしいか


コイツで
好きなポーズを
とらせてやる
フレームで
指の先の一本まで
拘束されるんだ
選べ
……
フフフ…
わりと
地味好み
だな
あ…
い…や
クフフ…
うれしいか
ガチャ


トモエちゃん…
フフ…
責めろ
いっ
イヤ
コイツには女にも奉仕できるように仕込んであるんだ
だ
ダメ…
ああッ
ンッ
ンフフ…！
ンッ
ンンッ
ン――


夢…？
カチ
ガチャ
ガチャ
ヒュル
ヌチャ


……
プチ
プチ
ウィィィ
ズブ
グイ
ヌプ
ヌプ
ア…ッ
ビク
ビクッ
アウッ
アウッ
アッ
アウッ
ギシッ
ギシッ
ハァ
ハァ
はアッ
アア
ア…
いいイ…
いひイ…


ククク
快楽がほしいか
ピチ
ピキ
いまにお前を
買った変態が毎日
与えてくれる
手足を拘束されて
あらゆる
肉の悦びをな
二度と普通に
戻れない
いまここで
俺のを
食いちぎって
逃げれば…
……
ピチャ
ピチャ
ピチャ


仕上げだ
ウイィッ
ウイィッ
フフフ…
怖いか？
ビュー
ビュー
じきに
半睡状態となり
手足の感覚も
なくなる
つまり
肉ダルマだ
快楽に震え
ただひたすら
汗を流す
ンッ
ンン
マチッ
マチッ
マチッ
ンンッ
ウウ
ン…
ガチャリ
おわり


快楽のいけにえ


会長様はすぐ戻りますから
毎回あなたに会うのを楽しみにしていらっしゃいます
せっかくですけどこれで…


父の使いは果たしましたから
そう
仕方ないわね
!


ギシ。。
ギッ
ウウ…
ギギッ
ククク
あがいても
ムダじゃ
……
ガチャ
待ちかねたぞ
ニヤ

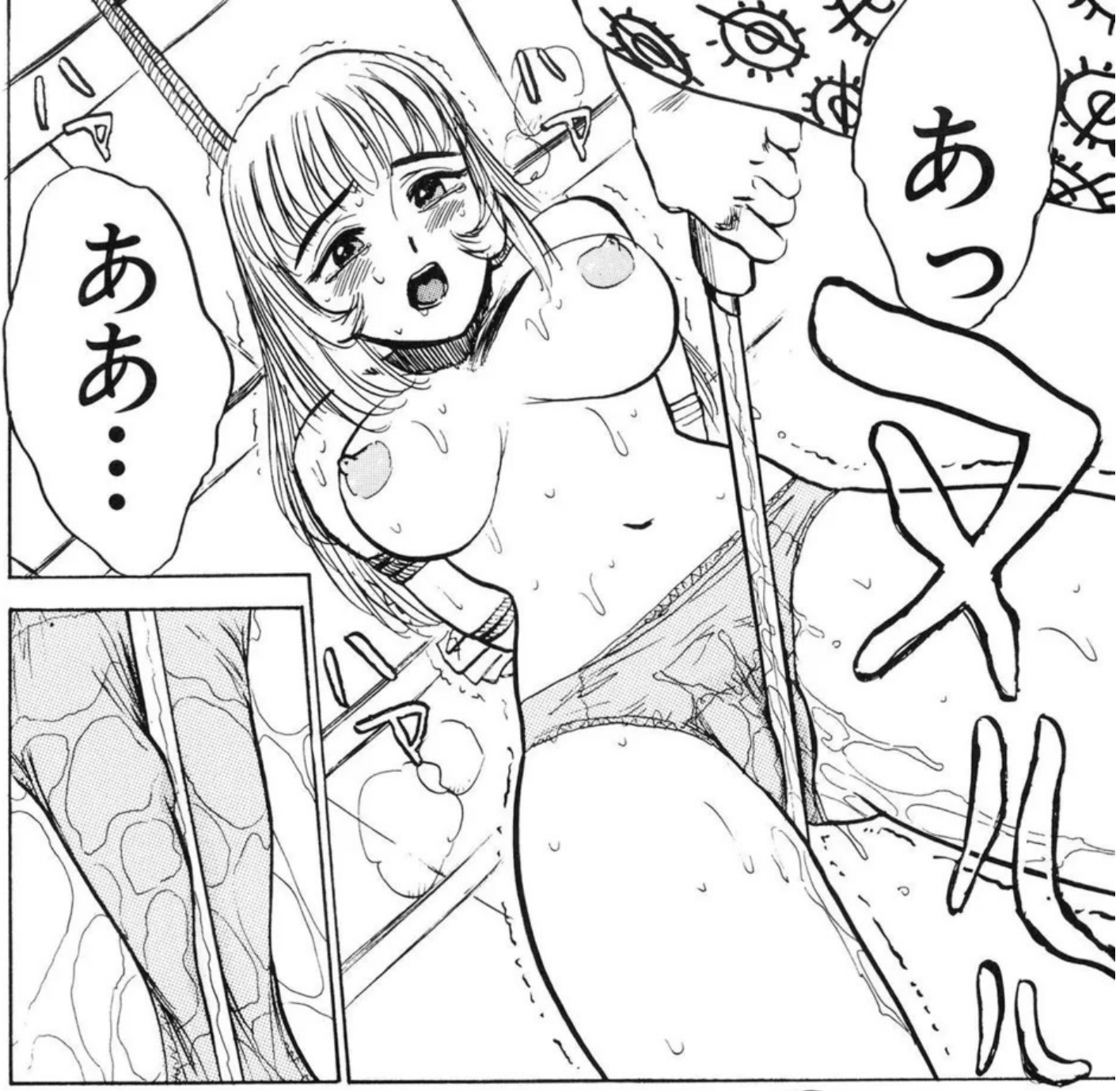

これはどういうコトですか
ワシが好意を寄せているのは知ってただろう
お前は売られたのだ父親にな！

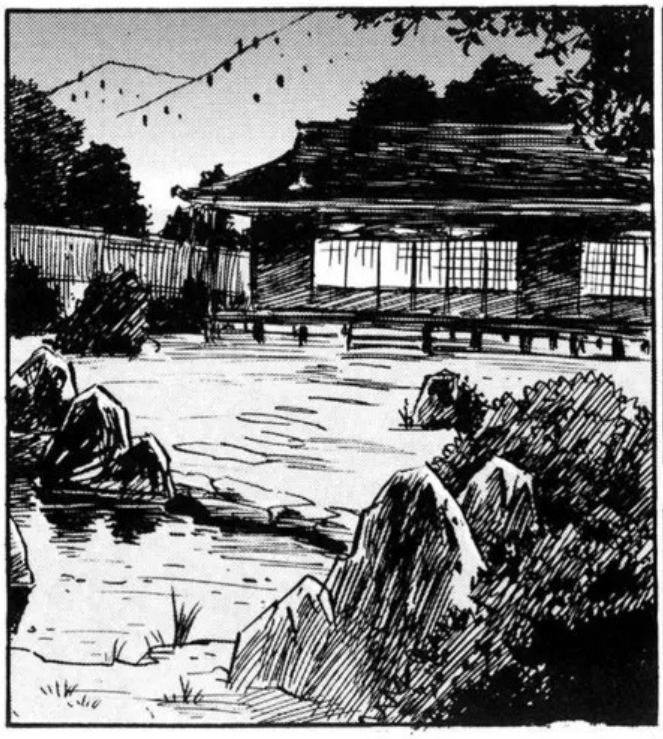

前々からほしいと思っておったのだ
あの水ぶくれの代議士の娘とは…とても思えん
大声で助けを呼びたかろう？
プッ！


警察に言うわ！
訴えてやる!!
ククク
どうかな
警視庁にも知人は多いでのう
ガッ


思った通り…美味そうなカラダじゃわい
チャッ
ここから出さないつもり!?
…出してやるとも
訴えるなりなんなり…
好きにするがいい!
ヤッ。
最後までその気があればな


バカにしないで！
私が快楽に溺れるとでも…
！
ビクッ
ほう？
ニヤ
や…
イヤ
ギッ
ギシ
ヒヒヒ
どうした
腰が踊っておるぞ
ハア
ホレホレ！
カラダには
逆らえまい…
……
アヘ。
ビク
ビク


あっ
ああ…




フフフ
このワシが
教えてやろう


溺れるほどの
快楽を…な


ふふふ そうだ 念入りにな
ギシ…
ウッ ギシ
ウウ
ギ

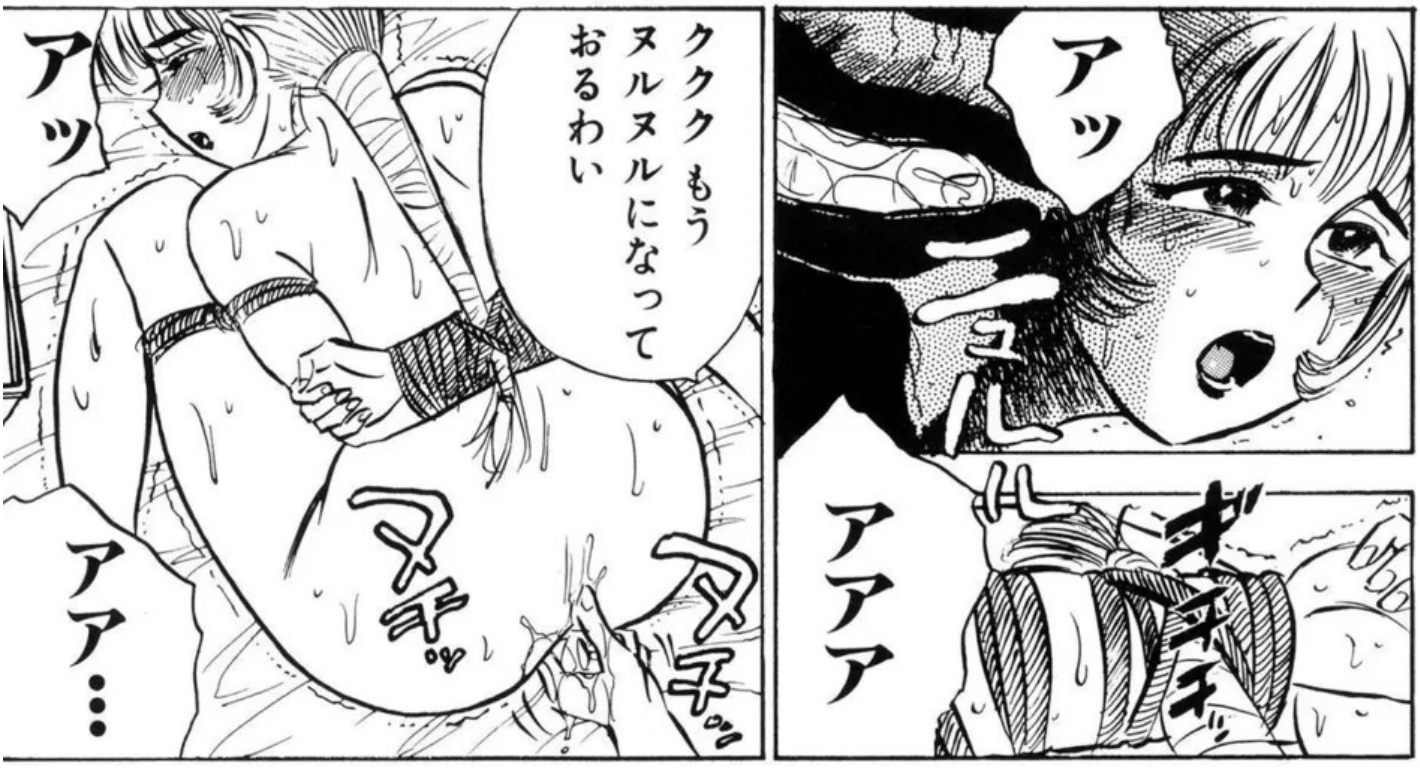

ウッ
ウウウッ
ウンッ
ウンン…
スルッ
ン——ッ
スルッ

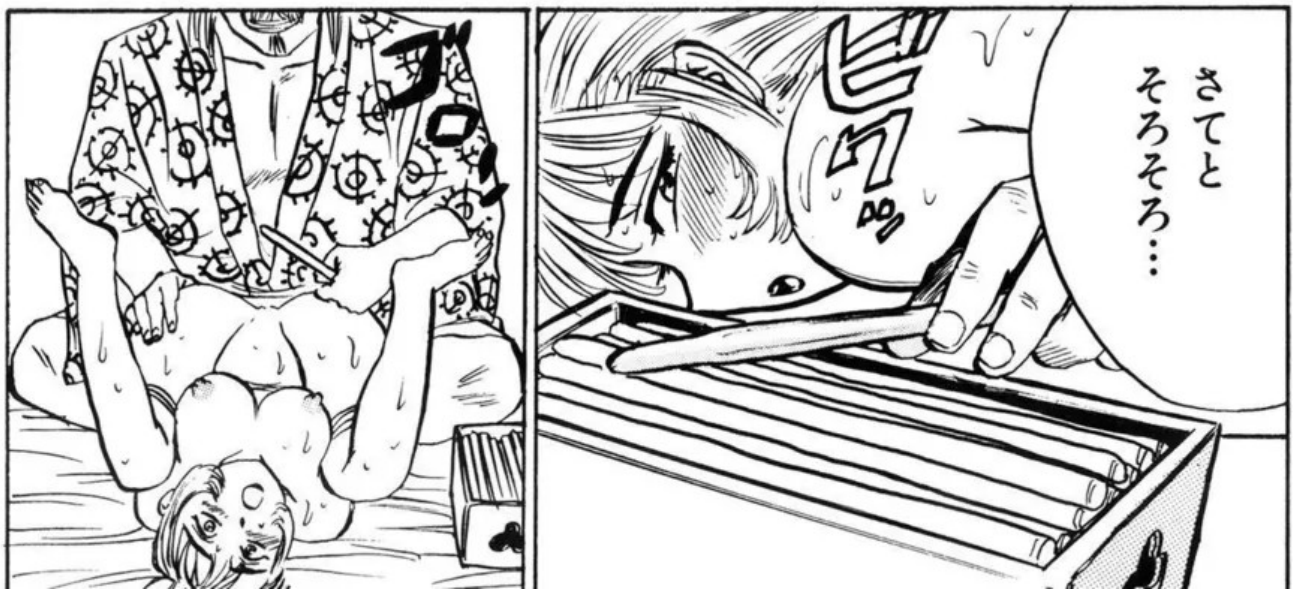

フウウッ
ふふふ
たまらん姿よのう
そろそろ中に欲しかろう！
……
だがワシはもう眠いのでな
朝までその責めを受けるがいい
休む事は許されんぞ
ウッ
ウウッ
クックックッ
ウ――ッ

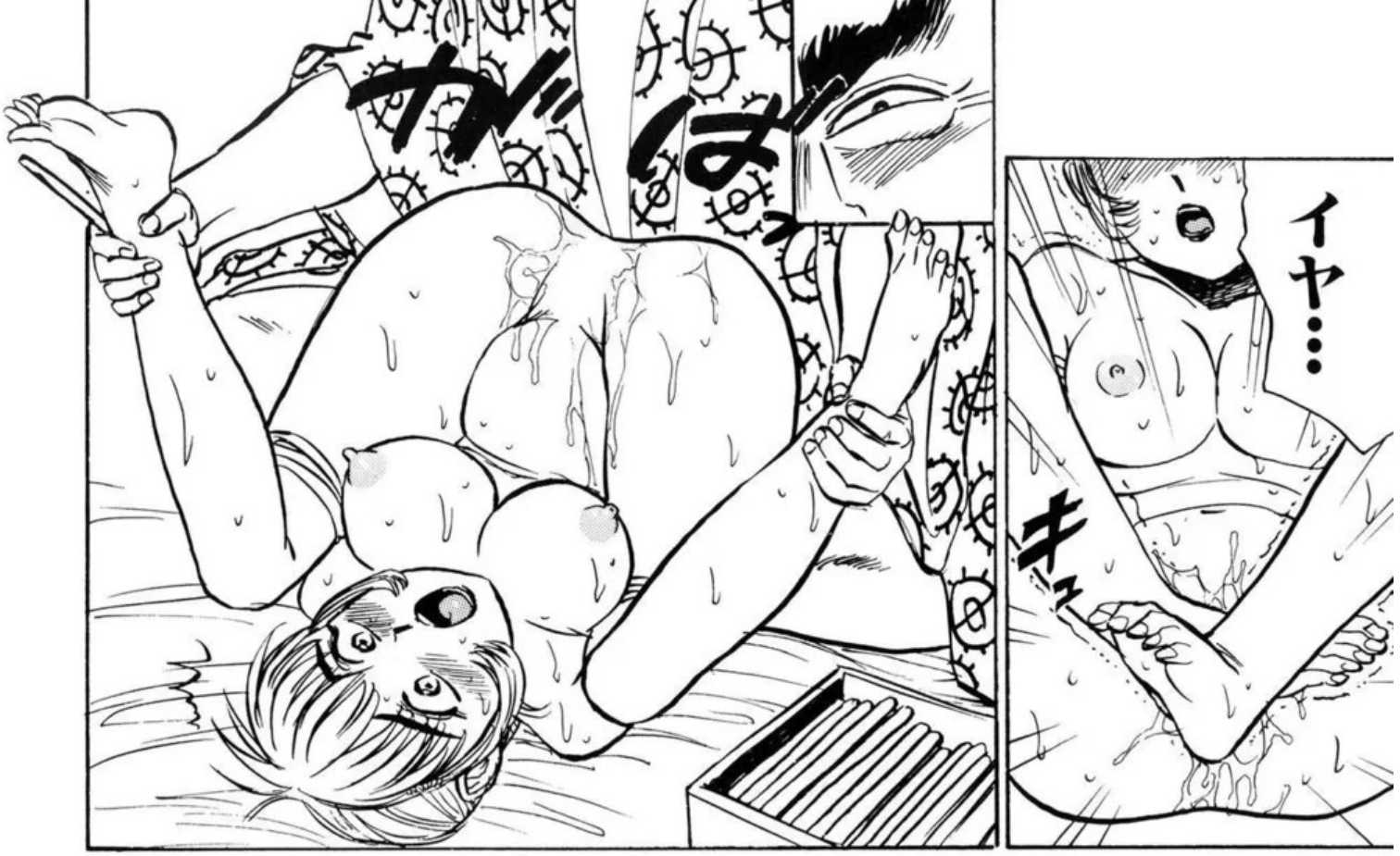

チュン
チュン
ン…
ふふふ


ニィ
ルル
キュッ
フフフ 消耗して
眠っておるわい
ナハハ

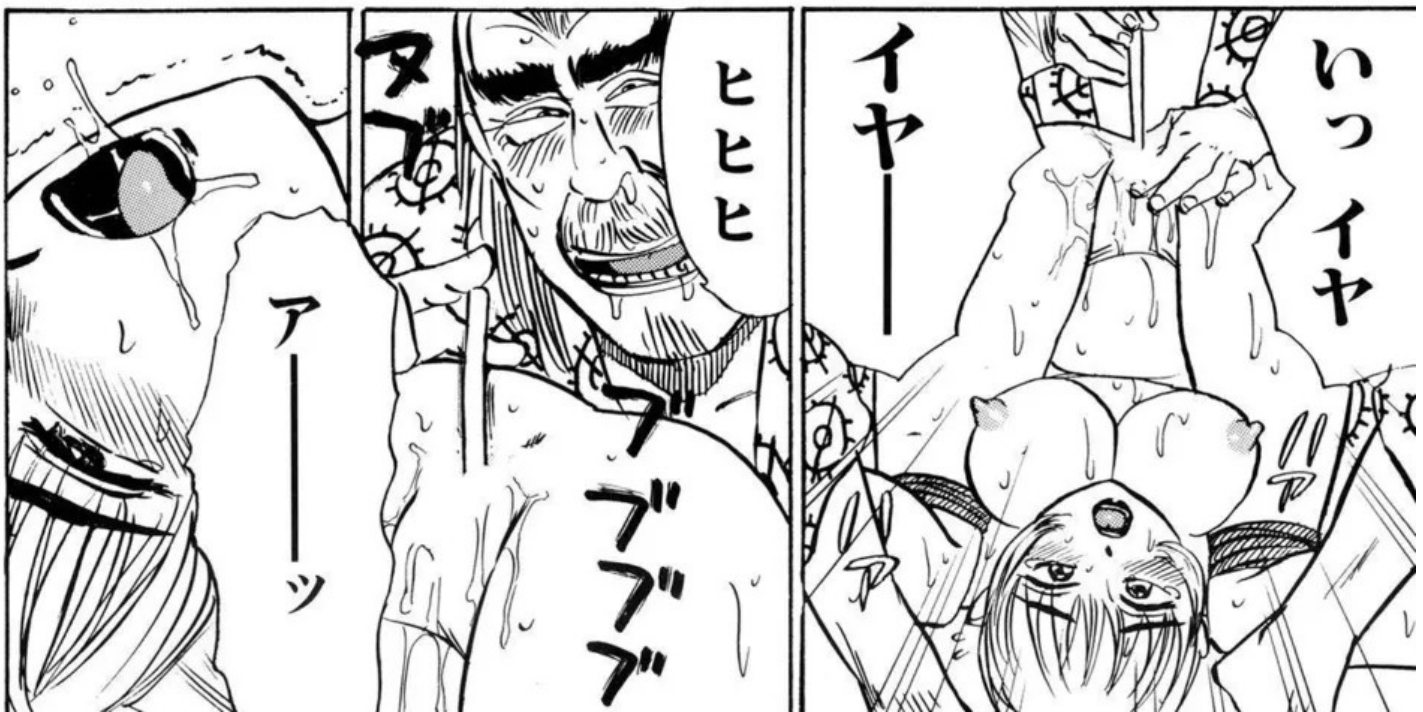

フフフ
ヌル
ヌル
ハァ
ハァ


アッ
ニュル
アアア
ボボボ
ククク もう
ヌルヌルになって
おるわい
アッ
アア…
アヒヒ
アヒヒ


さてと
そろそろ…
ビリリ
ゴロ


ガバッ
イヤ…
キュ


ククク
少女のように
ツルツルだのう
ヒダのシワまで
よく見えるわい
ウイーン
コイツは
特注の極細
バイブじゃ
何本入るか
試してみよう
かいのォ

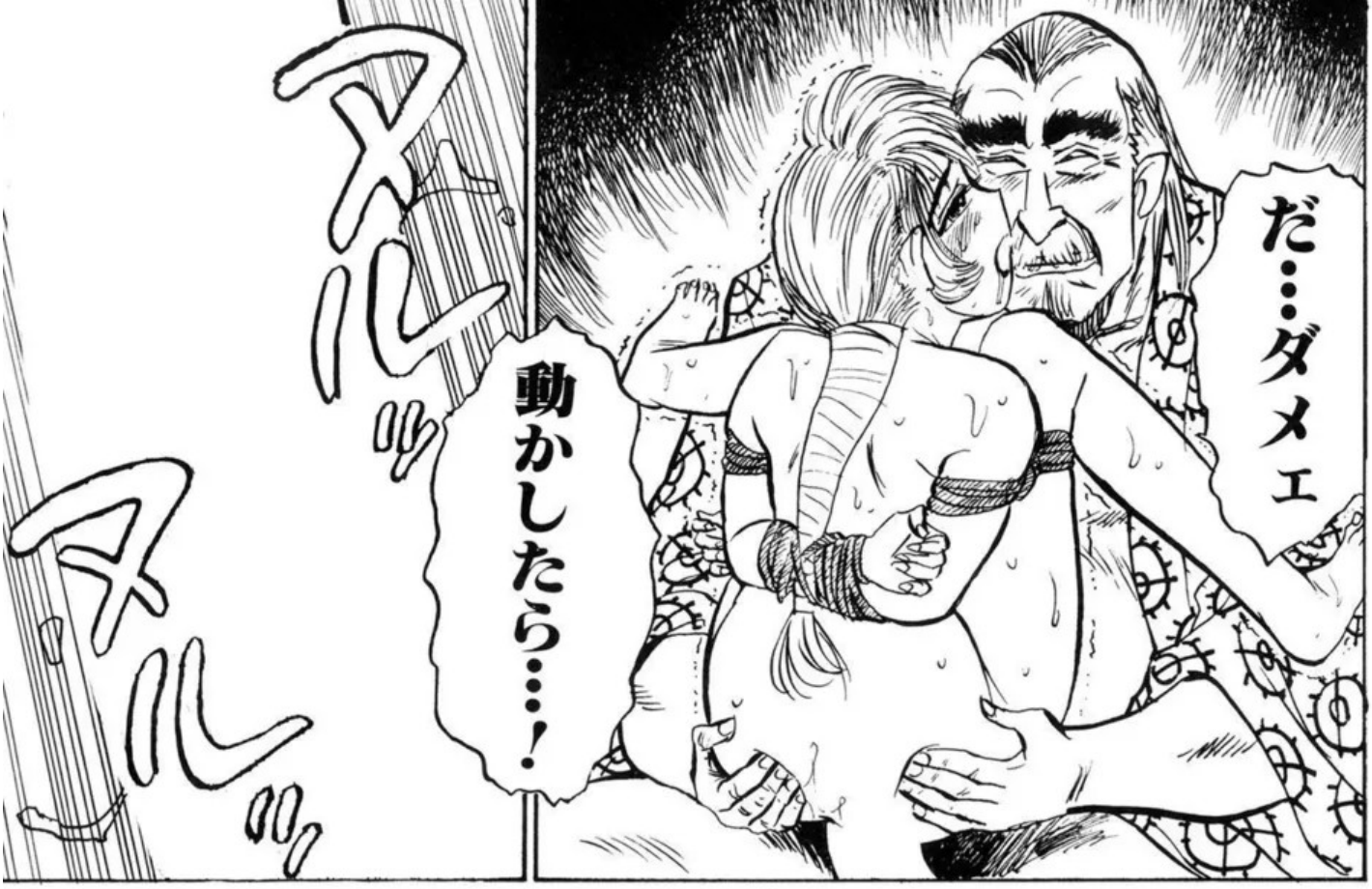

いっ イヤ
イヤ――
ヒヒヒ
ブブブブ
ア――ッ


もう一本…
だいぶ広がったわい
ヒヒヒ
アア…
ア…
ククク仕上げに…
グチ
アッ
イヤッ
アーッ


どうだ？
アア…
ぬ…抜いて
壊れるゥ
お願いィ——
ヒヒヒ
いいとも

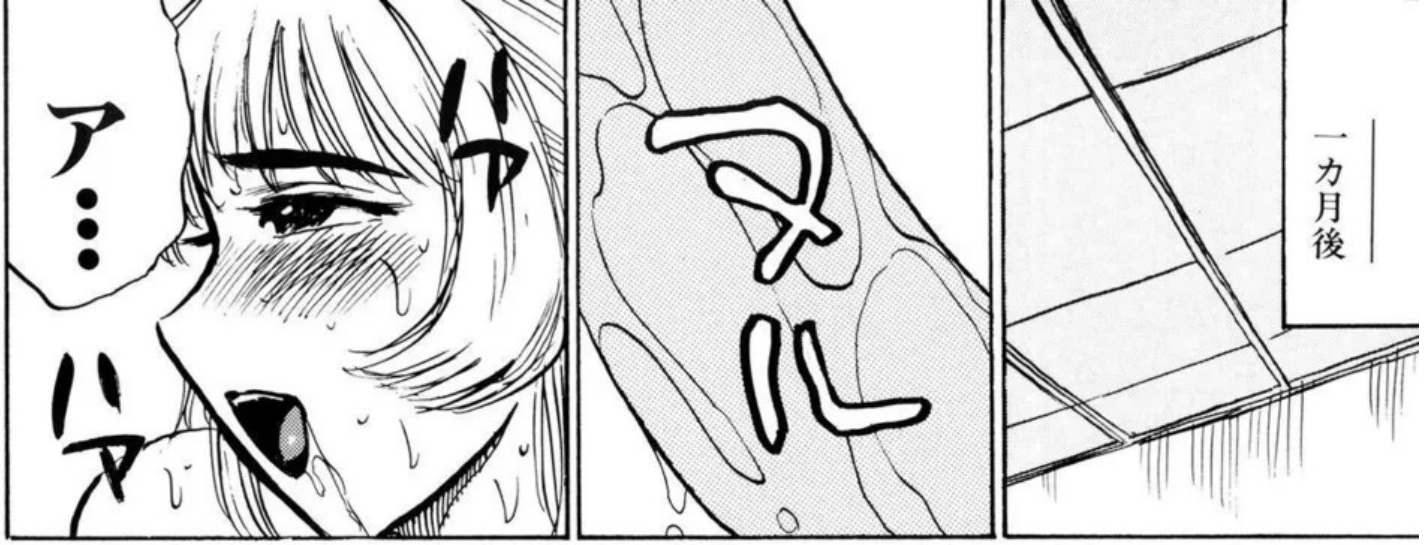

あうっ
抜かなきゃ
ワシのが
入らんからの
アッ


少しずつ広げた
のはこの為じゃ
いっイヤ
ヒイイ——ッ


だ…ダメエ
動かしたら…！
メルッ
メルッ


アアッ
ハアアッ
ククク 痛くはないようだな
にゅるるん

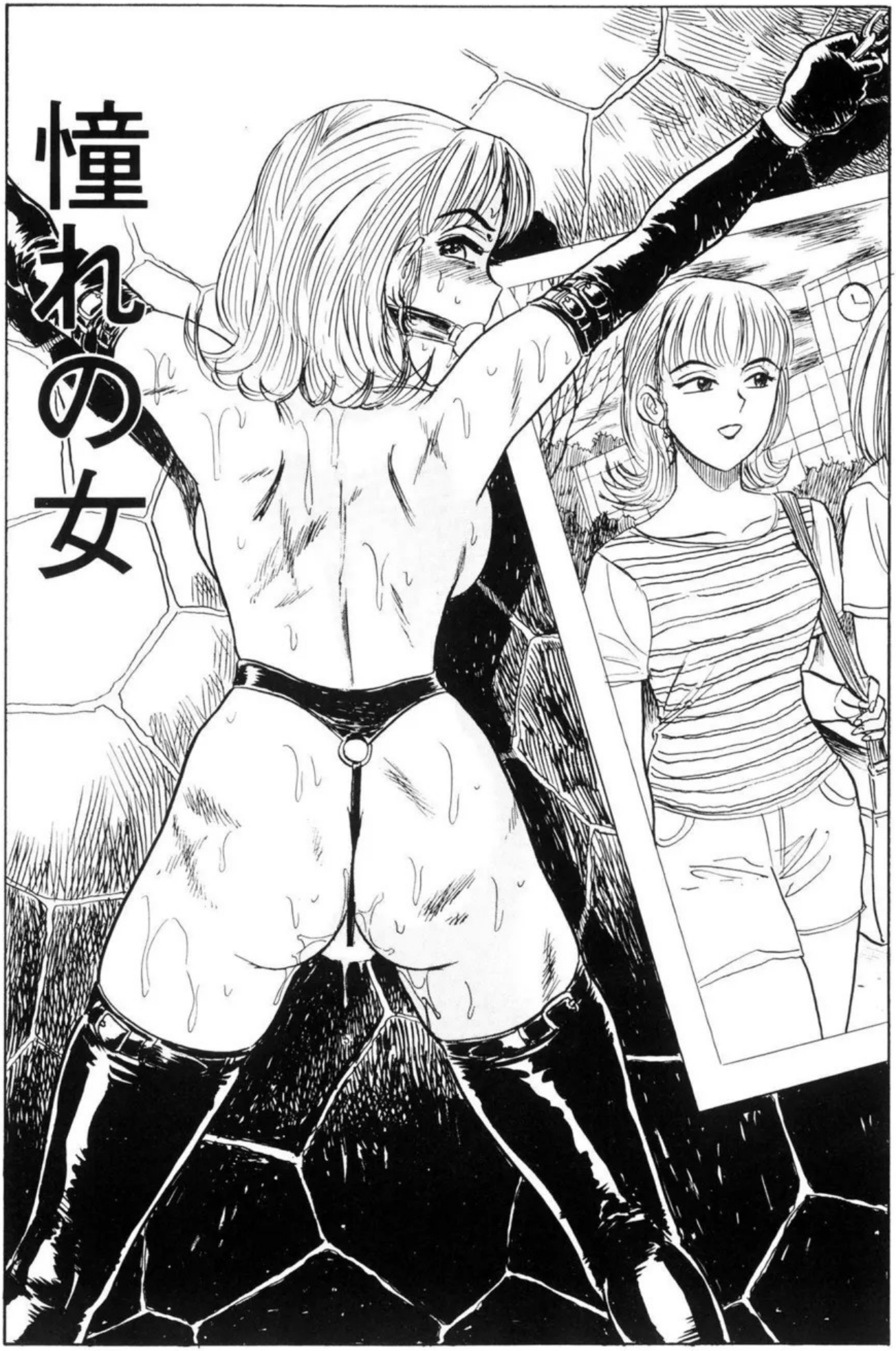

夜通し責められて眠かろう
夢心地に快感を味わうのじゃ
そのうち普通のサイズに満足できなくなるぞ
ククク


一カ月後
ヌル
ハヤ
ア…ハヤ


アア…
アハアッ
ヌル
アチチ
フフフ かわいいのォ


ンッン
ピチャ
あせらず丁寧に舐めるんじゃ
ワシが満足するまでごほうびはナシだぞ
フフフ

おわり


憧れの女


4千万…
本当に貸して
くれるんで
しょうね
この別荘に来る
ことは誰にも…？
言えるワケ
ないでしょう
主人には
友人の家に
泊まると
言って来たわ
結構
ギッ
電話をもらった
時は夢かと
思ったよ
学生の時 俺を
ふった事は許せ
ないが…
ずっと憧れ
だった
まさか抱ける日が
来るとは

相変わらずゲスな男…

小切手が先よ！

そしたら一日…好きにしていいわ

あくまでも取引よ

でなきゃアンタなんかと…

この話はナシだ

えっ

思い上がるなよ！たかだか女の分際で何が取引だ！

今の俺はいつだってトップモデルとやれるんだぞ!?

融資だなんて言ってるがダンナは倒産寸前で屋敷も抵当に入ってる

それでピーピー泣きついて来たんだろうが

昔のなじみと甘くみりゃチョーシこきやがって…

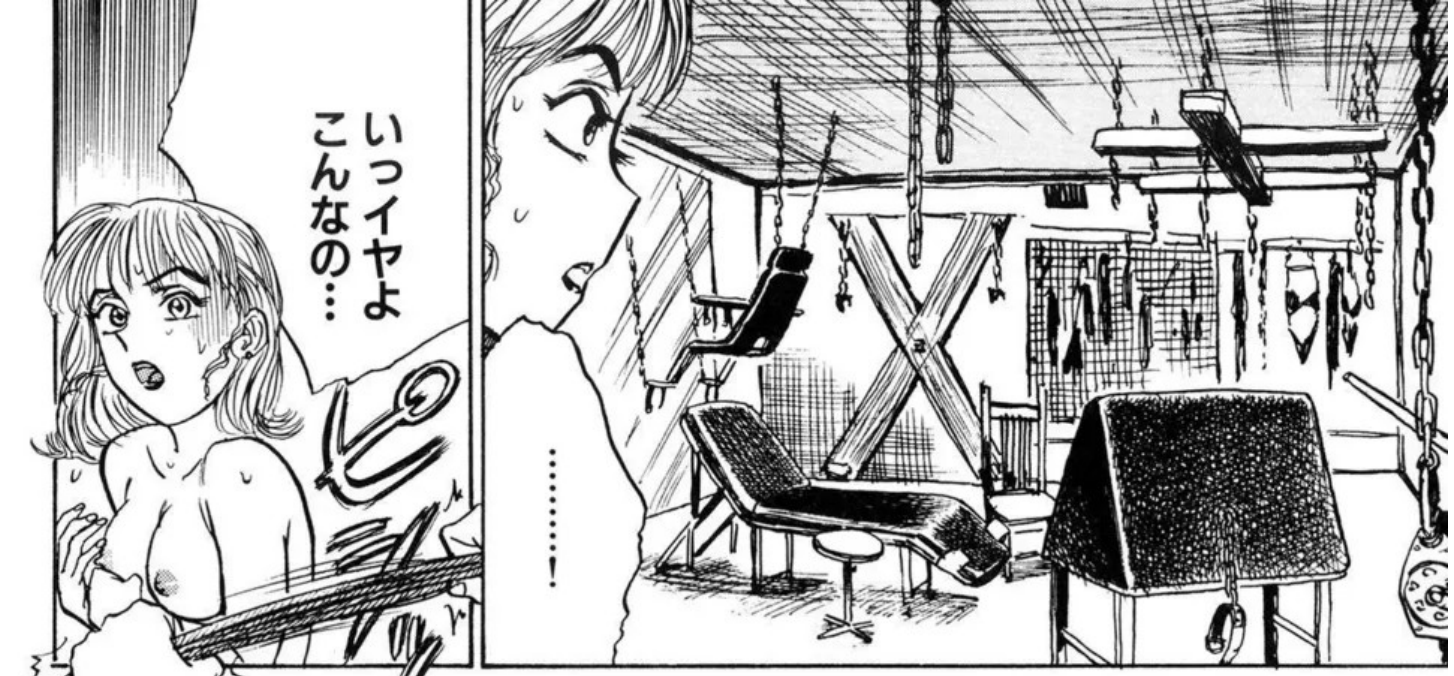
どうぞ抱いて下さいと！三ツ指つくのが節(スジ)だろうッ

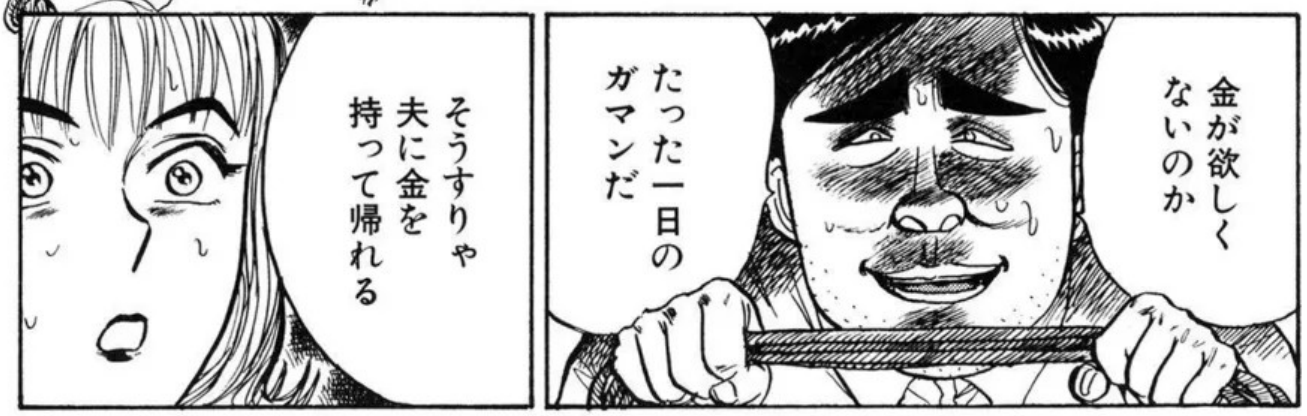

チュ
チュ
ピチャ
へへへ
うまいじゃ
ねぇか
ハヤ
初めから素直に
なりゃいいんだ
ハヤ
……


裸になれ
えっ ここで!
返事はハイだろ?
ビクッ
……は
ハイ


プチン
パンツもだ
ニヤ
ニヤ
正面を向いてな
パサ


足をひらけ…
手はそのまま
はハイ
アッ
ククク
こいつは
驚きだ
……
どこへ連れてく気
地下室の奥に
秘密の部屋が
あるんだ
俺だけの
娯楽室さ
ナデナデ


……！
いっイヤよ
こんなの…


金が欲しく
ないのか
たった一日の
ガマンだ
そうすりゃ
夫に金を
持って帰れる


あっ
やっあッ
ウィ〜ン
ギシ…
ヒヒヒ最高
の眺めだな
ああッ


やめてッ
ぶつのだけは…
アトが残ると
バレるもんなァ
ンンッ
ニヤ
ダンナが求めて
来ても当分は
拒むんだな
AWA


ウウッ
ジョリ
生え揃うにゃ
半年か一年…
浮気されない
ように気を
つけるこった
ウーッ
ジョリ


へへへ
たまんねェな
ドテがいやらしく
もり上がって…
たっぷり詰まって
そうだぜ
キュー
キュー
ンッ
ククク
ン…
ギチ
ピチャ
ンフ

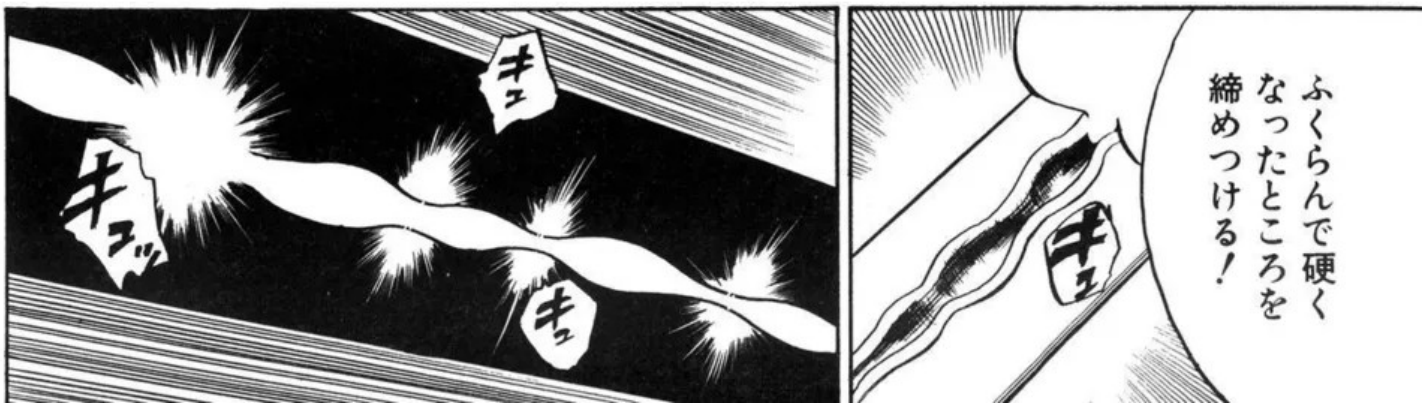

またげ
ンン
フフフ
裸じゃ可哀想だ
コイツをはかせてやる
スル
キュ
ンンッ
カチャ
ヒヒヒ鉄棒と仲良しってワケだ
ンン
キュッ


カチャ
ンッ
ンッ
グラッ
おっと！
キュッ
ウーーーッ
ククク
痛いか
許して欲し
かったら
向こう側まで
歩くんだ
……
ズリ
ンン
ズズ
ヒヒヒ
いいぞう
このクイ込み
具合…！


ズズ
ポロ
……
気づいたか
ミゾに落ち込んだ部分は…
痛みから解放されて宙ぶらりんの状態だ……
ンッ
ン


ただの鉄棒じゃあない
コイツは女の泣き所を責め抜く
一度味わえばおまえも…
ククク


進め
……
ズズ
ミゾが陰唇を押し開く…
グリッ
グリッ
無防備の先端をイボが刺激して……
……!
ンウッ


ふくらんで硬くなったところを締めつける!
キュ
キュ
キュッ
キュ


ウフッ
フウウッ
ククク
ヌル…
ンン…
ヌル…
どうした
ウッ
ウ
ギュル
ギュル
体を折って
ベルトを
緩めるんだ
ウ…
グヴッ
ヌルッ


ふー
ふー
ウウ
ン…
ウッ
ウッ
ウッ
ンウウ
ククク
！
ウンン…


チュウ
チュウ
や…
あっあ
もう
もう
いいでしょ
約束の一日は
過ぎたハズよ


約束？
…ああ
そうだったな
ホッ
小切手だ


早くほどいて
ドサッ
！
カチャ


これは失礼
アトは君の勝手だ自由に出てってくれ
そんなどうやって……！
ウィィ
ウィィ


ククク そいつをつたって上ればいい
女の君なら簡単さ
待って
……
ウィィィ


ウウ
ワ゛ワ゛ワ゛


アア…
……！
グッ
す 少しずつ
太くなってる…！
ウイイ～
ウイイ


あう… アアッ
抜けない…ッ
ミチッ
ミチチ
ウイイ
い…イヤ
イヤッ…あ


……
きもちイ…
ヌチ…
アソコにも
クイ込んで
こっこんなの
いままで…！
ウイイ


ハアハア
ピチャ
んっ
ピチャ
んきゅ…


はあっ
ギチッ
ハァハァ
ギチッ
い
イク


プチュッ
……
ギチッ
あ
あッ
ギチュッ
んグ…き
きもちィ…シン
ああ――
…もっとも
初めから帰す気
などなかったがね
ククククこうも
たやすく溺れる
とはな……
ククク…
おわり


霞ヶ丘の人形


あんた鏡見たことあるの？
丸ハ公園
え…
泊まりで旅行だなんて…誰に言ってんのよ！
でも僕のこと好きだって…その…
おめでたい人ねえ…お世辞の一つくらい言って当然でしょ
いままで散々おごらせたんだからさ

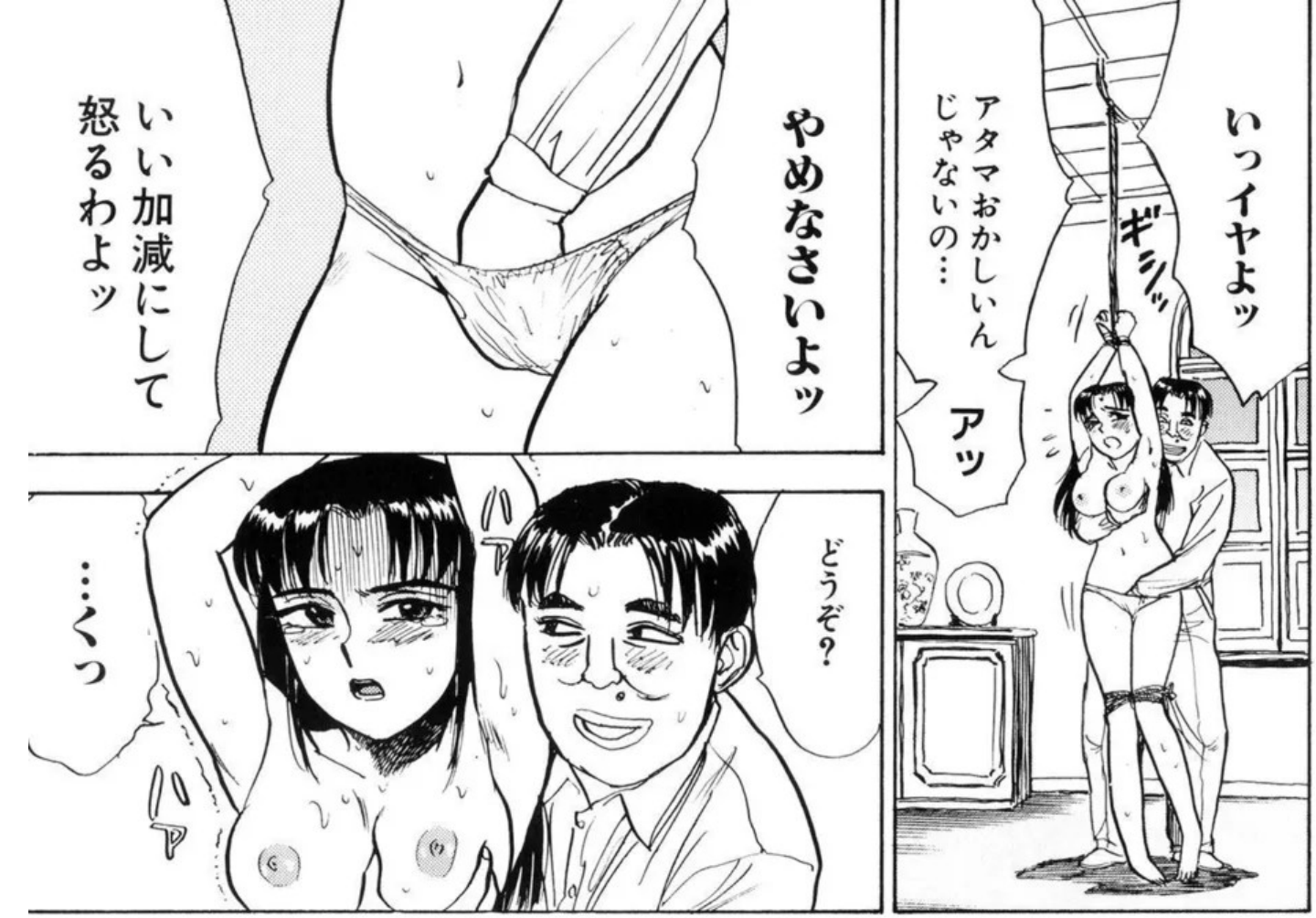

さ サキちゃん…!?
クスッ
少しはバランスって
ものを考えてよ青山くん
親が金持ちってだけで
何の取り柄もないし…
並んで歩くのだって随分
勇気いるのよ
……!
いままでいい夢
見れたんだから
感謝してよね


…ち
ちくしょう


ちくしょ——ッ
!


トサカッ


う…
はッッ
やあ お目覚めだね
ギシ…
……一体何のつもり
早くほどいて
ふふふ ほどくなんて
もったいない
せっかく似合ってるのに
君が悪いんだぞ
あんなひどいこと
言うから
あっ ちょっと…！
たっぷり調教
してあげるよ
僕のものになるまで


いっイヤよッ
ギシッ
アタマおかしいんじゃないの…
アッ
やめなさいよッ
いい加減にして怒るわよッ
どうぞ？
…くっ
ハア
ハア


誰かァ——!!
変態——ッ
ふふふ誰も来ないよ
別荘のまわりはウチの所有地だからね
感じてるんだろう…
声出してごらん
くっ…誰が
アアッ
そーらだんだん濡れてきた
クチュ
クチュ
あ…
イヤ


ま 待って
青山くん！
…そろそろ見せて
もらおうか君の…
さっきのことは謝るわ
今やめれば全部
許してあげる… だから
スルッ
あっ


ふふふ 謝るも何も…
君は悪くないだろう？
僕が酷いのがいけないのさ
ハアハア。
スルル…
あ…謝ってるのに…
もういいでしょッ〃
ふふふ だめだよ
調教はこれからだ


あっ あっ
イヤァ――ッ
ギリ
ギリ
ああっ
ああ…
ギリ
ギリ
ハァ
ハァ
おねがい…何もしないで
ズズ…
怖がらなくていいよ
痛いことはしないから
あ…
ほーら
やさしくむいて
あげるよ


ふむふむ
キレイな色だ
ゴクッ
少しオシッコの
臭いがするね
どんどん
汁が出てるよ
ちゅう
ちゅう
いや――――ッ
ふふふ 硬くて
コリコリしてる
あ…ッ
イヤ
あ


ハァ
ハァ
ふふふ だいぶ
よくなってきたろ
サキちゃんのココ…
すごく熱くなってるよ
あ…う


好きなだけやりなさいよッ
ハァ
ハァ
身動きできない
女をなぶるなんて
最低のウジ虫ね！
……
ガタッ


ハァ ハァ このッ
どうだウジ虫に犯される気分は
アエッ
アエッ
アエッ


ウッ
トロ〜ン


……
終わり？




ねぇやめましょうよ
バカなことしてるって
思ってるんでしょう？


チャラ…
はッ


これほどいてくれたら
アト一回してもいい
から…


ちょ…ちょっと！
何するのよ
やあ…
ンンッ
カキ〜ン


ンーーッ
ンーーッ
ヌルッ
ヌルッ
ヌチュッ
ふふふ いけないなぁ サキちゃん
ンフフッ
ンフフッ
こんなにおもらしして…
カチッ
ON
ヴィィィ
ウーーッ
ヴィィィ
ふふふ
ウッ
ウフッ
グチュッ
ヴィィィ
ウーーッ


ジョリ
ぐりぐり
クスクス全部まる見えだよ
赤ちゃんみたいだ
トロ
ふふふ
ヌルル
ンフフ…
ン…
クチュ
ンンフ
ムニュル
ヌチュ


ぐー
ギシ。
ふ――
ふ――
ウ…
ギシシ。
ンッ
ンッ
ウィィィィ。
フグ
ぷしゅ
ふ――ッ
ふ――ッ
ポタタッ
ポタ
ン…
グス…
ウウッ
ウィィィ。


カチャ…
ホラ 食べなきゃ
ダメだ
この先ずっと
ここで暮らすん
だからな
今は食べたく
ないわ…
もぐ
もぐ
僕が手伝って
あげるよ


ゴボッ
ゴボッ


ふふふ どうだ
うまいだろう
はふっ
はふっ
君の代わりによーく
かんであげるからね


くちゃ
くちゃ


ふふふ…
たくさん
お食べ
アオッ アオウッ


ング…!
ゴクッ
ゴクッ


よーし次はコイツだ
栄養たっぷりだぞ
アーーッ
アッ
さ最高だ
ヌチュッ
ヌチュッ
最高にきもち
いいよ サキ！
ンングッ
ヌチュッ
そ…そら
ヌチュッ
出るぞッ
ヌチュッ
ふふふ ありがたく全部飲むんだ
ゴクッ
ゴクッ
ンン…
どうだ きもちいいか
きもちいいのか サキ？


ふふふ
いい眺めだ
さんざん僕を
バカにした君が
グニュ
グニュ
今じゃケツの穴まで
いじられて悦ぶ
ただのメスだ
ウウ
ウ
アヘ
アヘ
フウッ ウウッ
ふふふ
かわいいぞ
サキ
サキ


いいかサキ
おまえは僕の
人形だ
ジュプ
毎日快感に身を
よじってなきながら
蜜をたらす…
肉の人形なんだ
ウウッ
ウウッ


ウーーッ
おわり

虜
とりこ




ハア
ハア
ガサガサ


ああ どうしよう
こんな山奥で
はぐれるなんて
グス
ない


もし野犬にでも
襲われたら
……


ガサッ
ヒッ

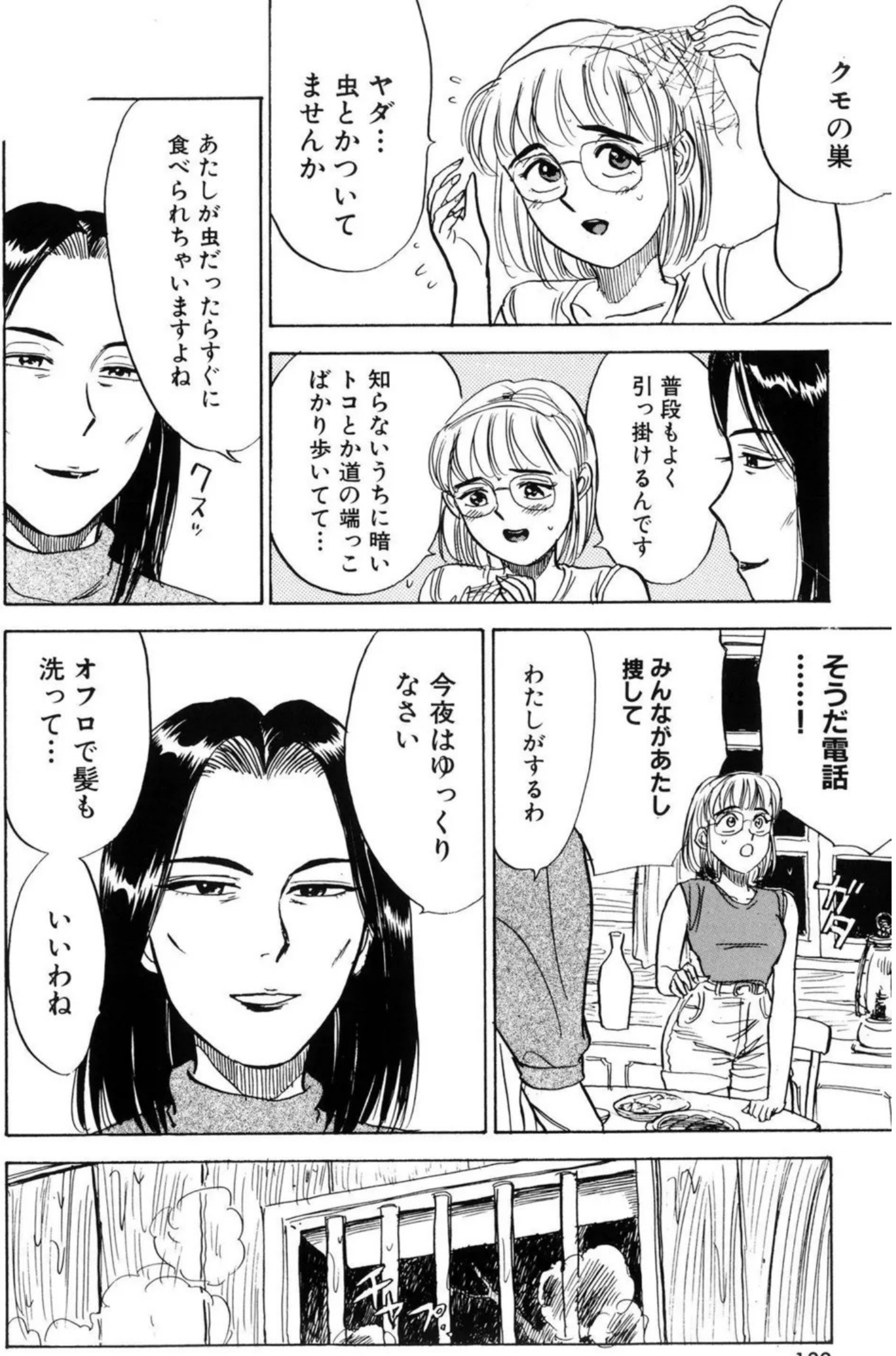

あの…
どちら様?


ここは私有地
ですので…
申し訳
ありませんが

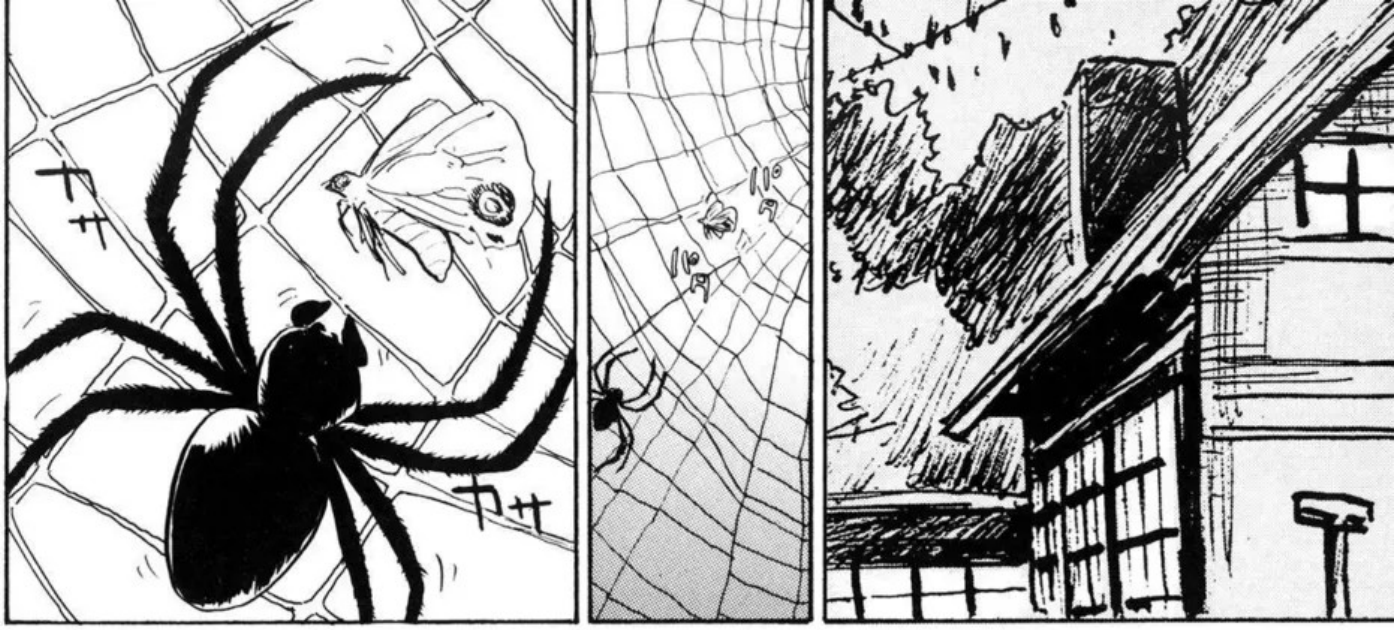

あっ 怪しい者じゃありません！
あたし学生で…
写真部の合宿に来てて道に迷ったんですッ
ごめんなさいわたし…
てっきり男の人かと思って…つい警戒して




すいませんごちそうまで…
いいのよ！一人で淋しかったから
でも…どうしてこんな所に住んでるんですか
うふふ気になる？
アラ


クモの巣
ヤダ…
虫とかついて
ませんか
普段もよく
引っ掛けるんです
知らないうちに暗い
トコとか道の端っこ
ばかり歩いてて…
あたしが虫だったらすぐに
食べられちゃいますよね
クスッ
そうだ電話
……！
みんながあたし
捜して
わたしがするわ
ガタ
今夜はゆっくり
なさい
オフロで髪も
洗って…
いいわね
チャプ


よかった…
親切な人で
チャプ…
ふう…
……
安心したら
なんだか…
眠く…
……
……
ドサッ


カサ
カサ
パラ
パラ


ン…
パチ
うふふ
気がついた


あっ


イヤッ
どうして!?
あッ
ハア
ハア


ああ……
うふふ
きもちいい?
クチュ

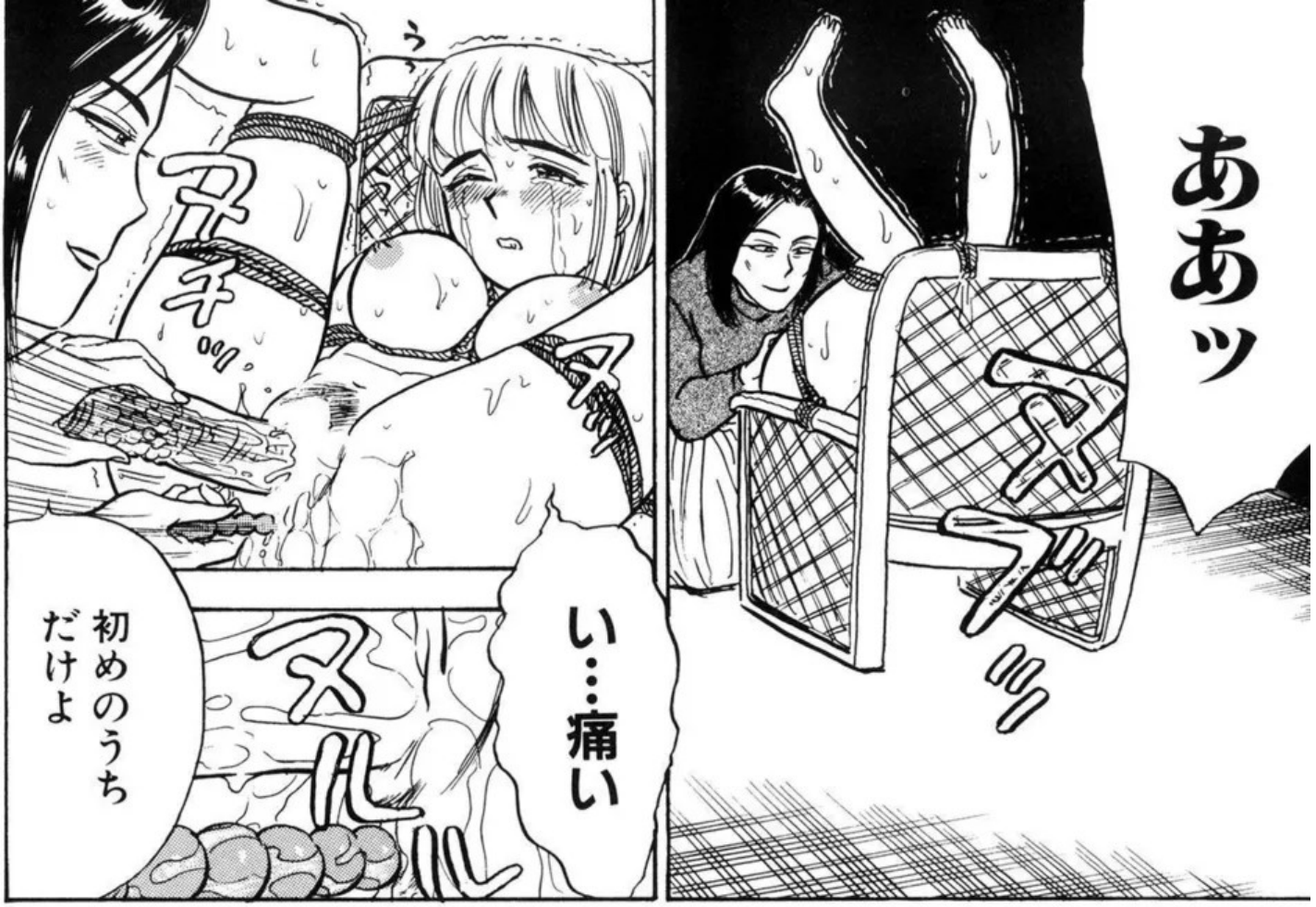

わたし病気なの
かわいいコを
見るとどう
しても欲しく
なるのよ


今まで耐えて
きたのに…
あなたのせいよ
そ…そんな
クチュ

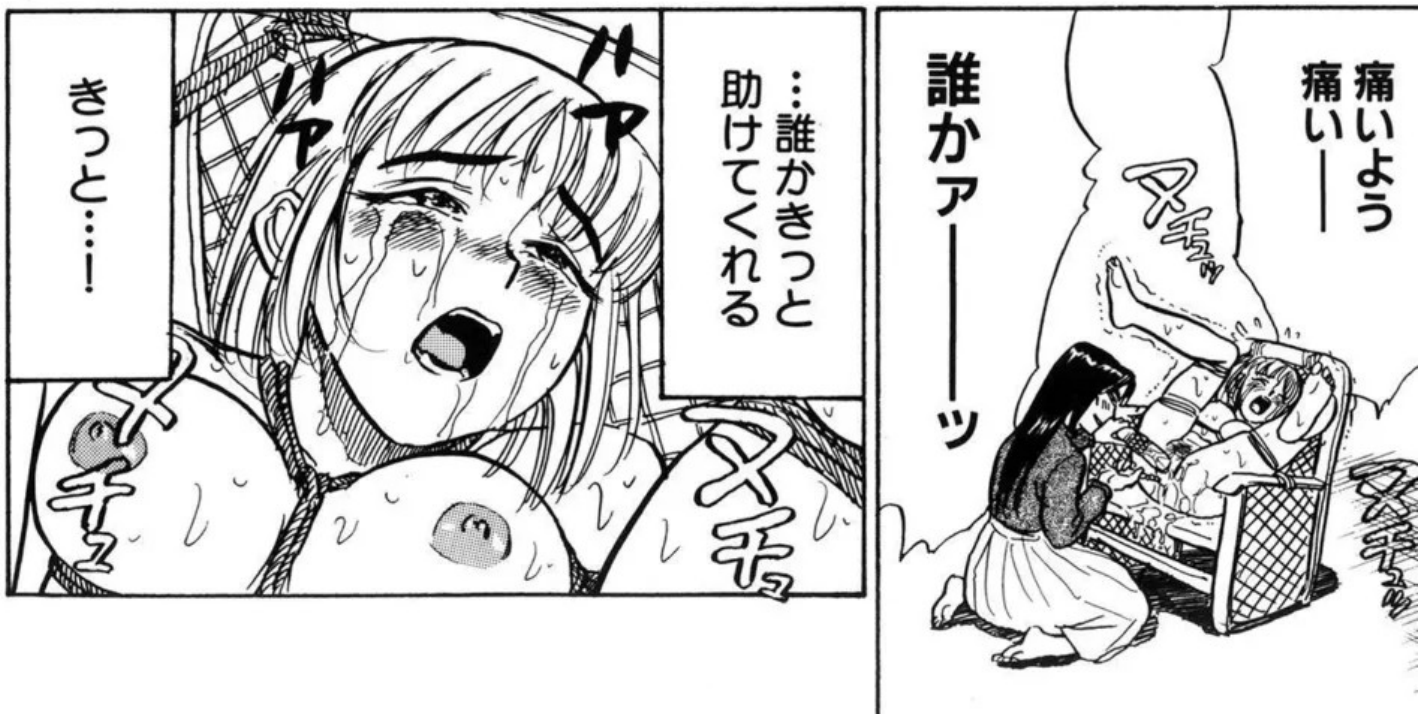

うふふ
あ…イヤ
クチュッ
いや――ッ
うふふふ


んっ
んん…
ヌチ…
おいしいわぁ
もっと…
もっと頂だい
あッ
ヌチ…
ヌチ…
あッ いや
許して!
ギシッ
ギシッ
おねがい
やめて下
さいいッ
うふふもっと
もがきなさい
あなたはクモの巣に
かかった蝶よ
ハア
いまならまだ
はばたいて逃げる
力があるの
ハア
でも 早く
しないと…
ウフフフ…


イヤッ
イヤアッ
綺麗な羽を
むしられて
体液を
吸われるのよ
生きたまま
少しずつ…
ギシ
ギシッ
ウッ
アッ
ああ——ッ
ヌルヌル
ヌルヌル
いやっ
た助け…ヒッ
ゾクゾクするわ
ハァ
ハァ
ウフフ
ひいい——
ああ…なんて
カワイイ声なの
待って

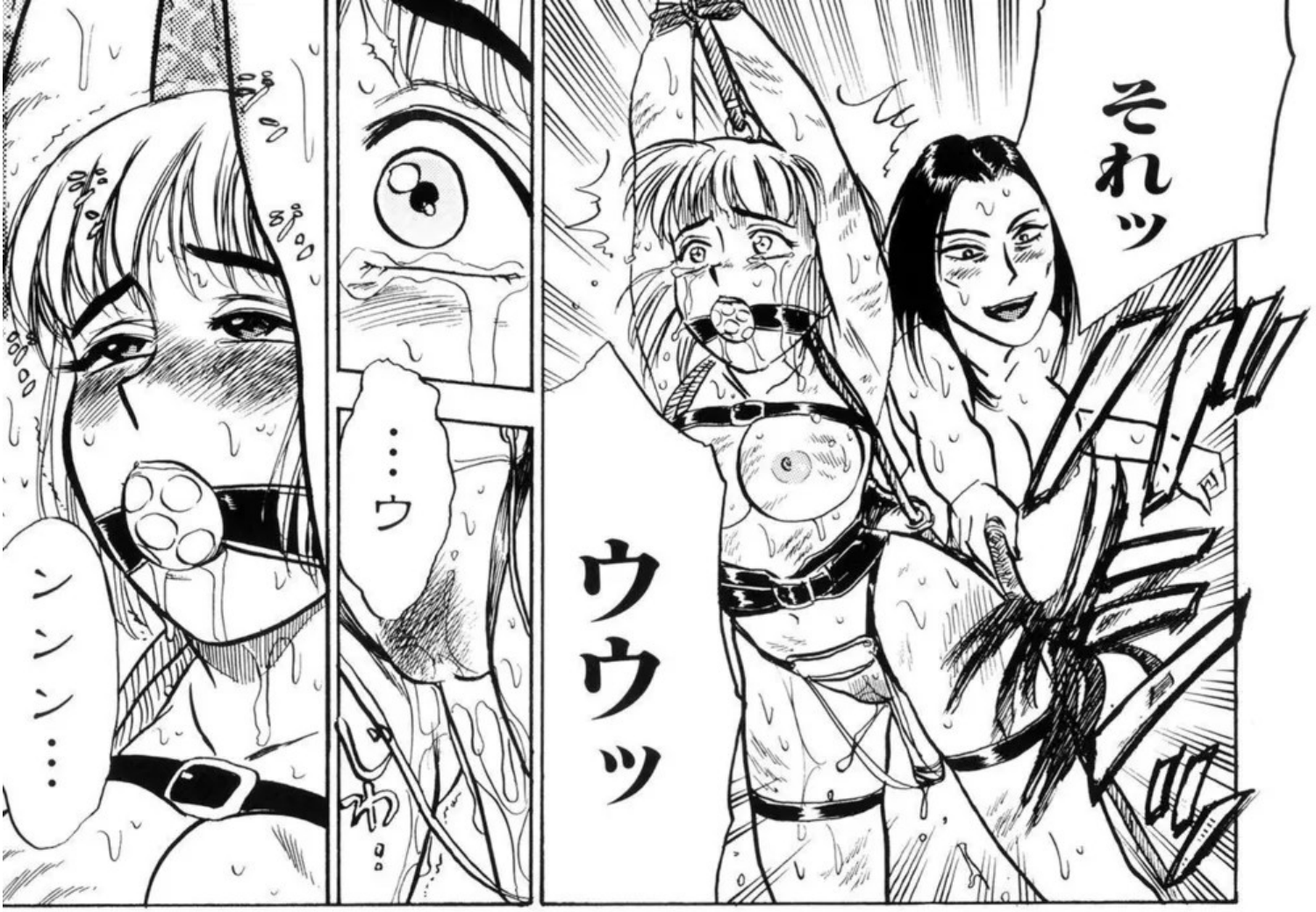

ああッ
い…痛い
初めのうち
だけよ

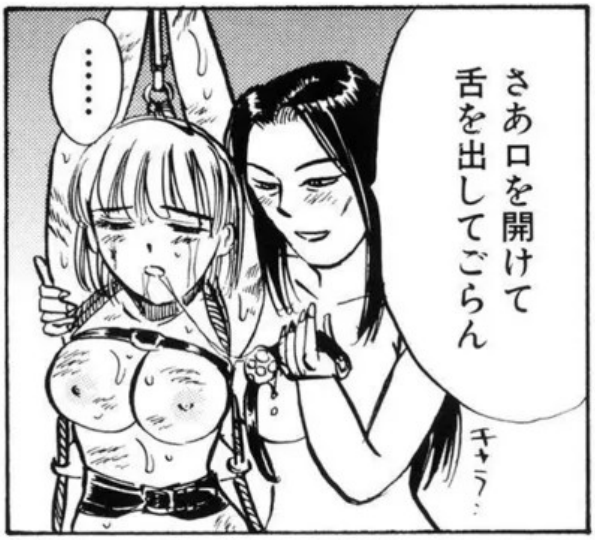

安心して…
私は本物のクモと
違って殺した
りしない！
あんたみたいな
かわいいコ…
殺したりする
もんですか


痛いよう
痛い——
誰かァ——ッ
…誰かきっと
助けてくれる
きっと…！


ウウッ
さあ…今日からあなたの部屋よ
ンッ
悲鳴も洩れないし…絶対見つからないわ
ングッ
ガチャン
一生ここで暮らすのよ
ウーーッ
……
ウッ
グス…
ウッ
うふふ
痛い？
ウウーー


ふ――
ギッ
ふ――
ギシシ…
さあ…
次はどこを
狙おうかしら
ウ…
ウウッ
ふふ今にもっと…
ムチが欲しくなるわ
ンッ
ン…
わかるでしょう?
少しずつ変わって
ゆく自分が…
ンンン


それッ
ウウッ
…ウ
ンン…


さあ口を開けて
舌を出してごらん
……
キュウ…

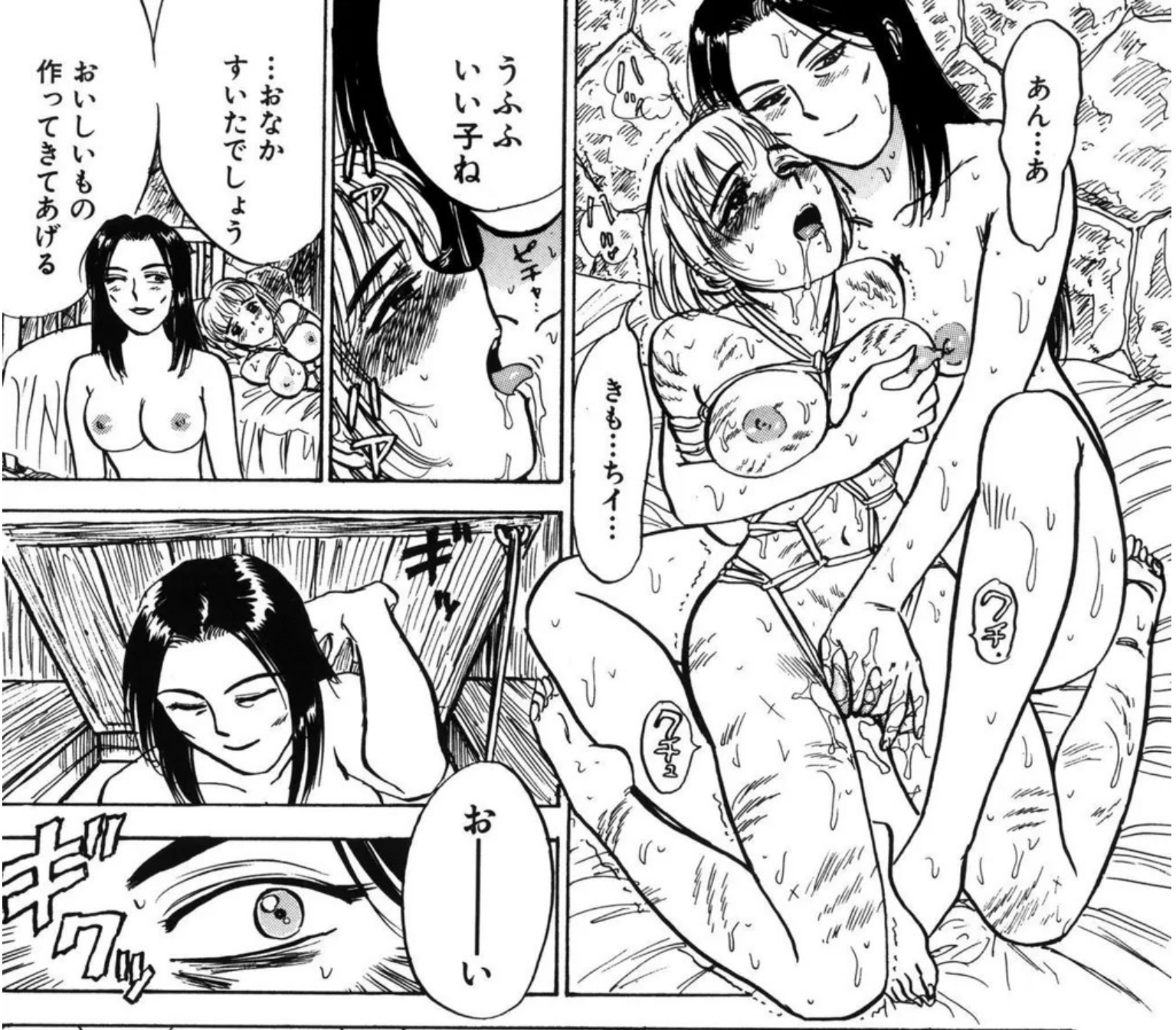




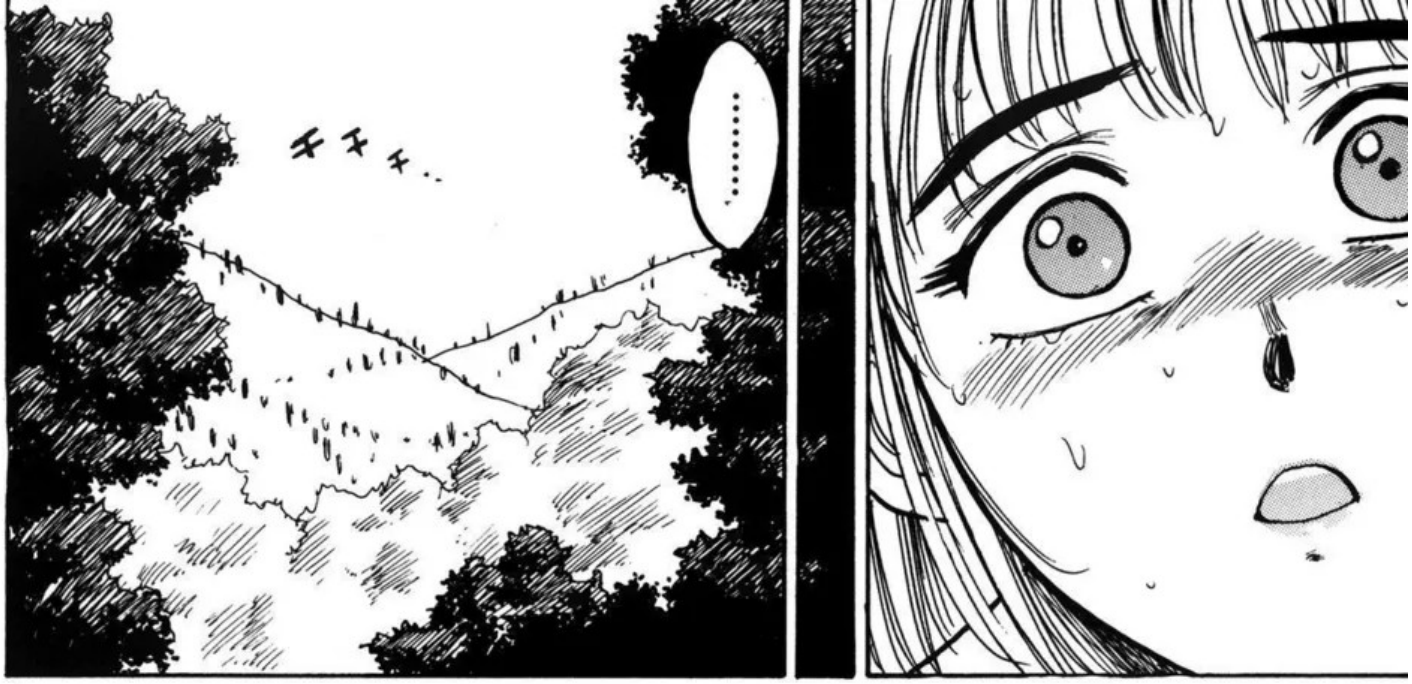

早くしなさいッ
キスするだけよ…
言う通り
しないと
絞め殺すわよ!

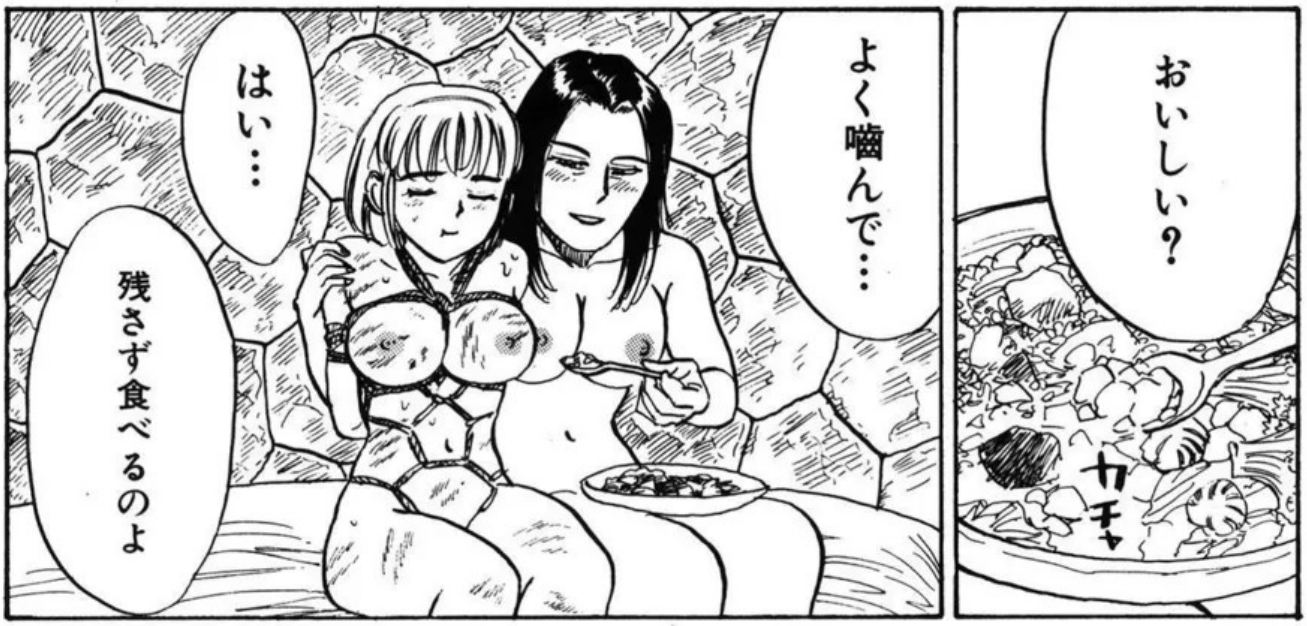


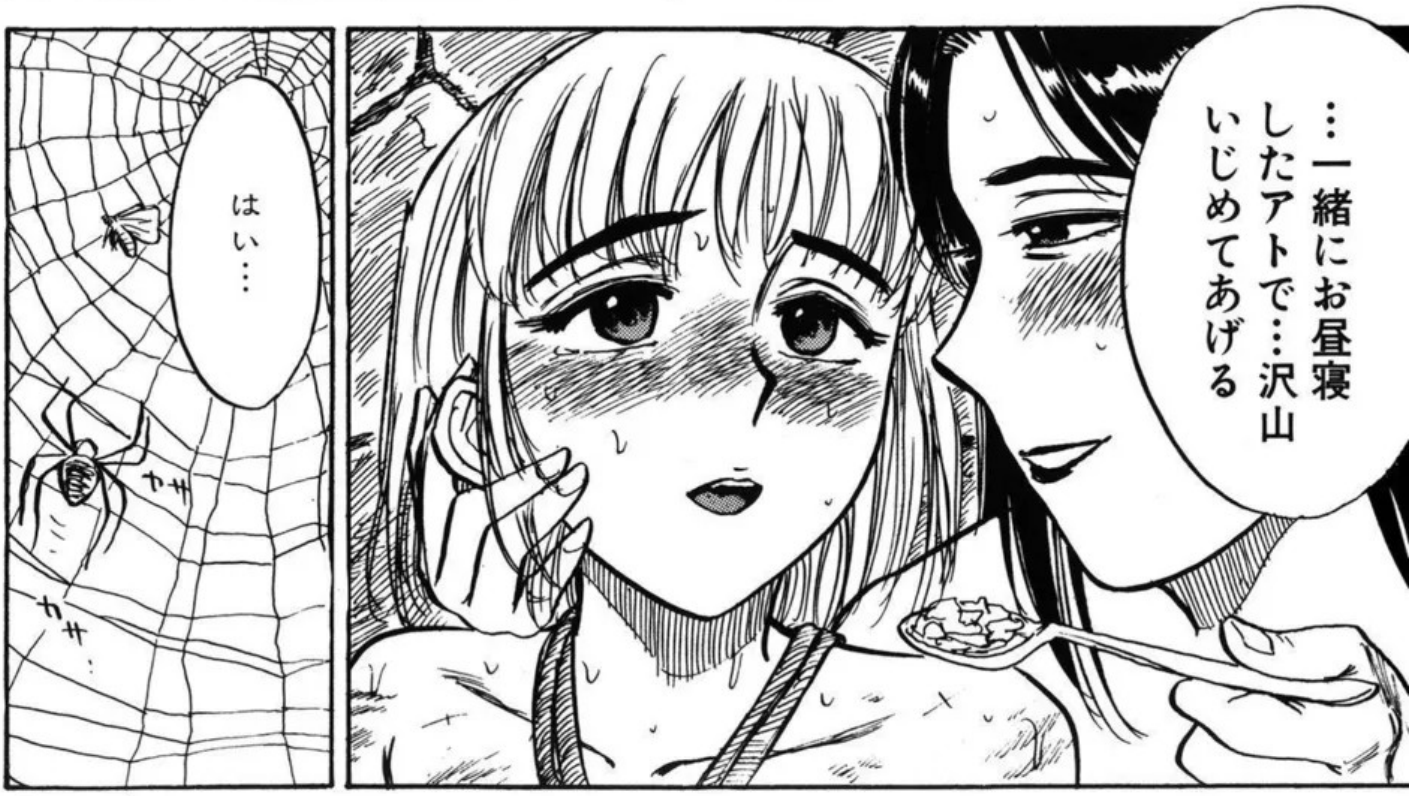

ごめんなさい
ウソよ…
今のはウソ！
ン…
クチュ
は…ア
ピチャ
アア
……
ハア
ハア
わたしのものよ
わたしの…
誰にも渡さない
はあ
はあ
はあ
5日後
チュン
チュン
はあァ…
ああ
ニチュ
きもちいい？


あん…あ
きも…ちイ…
クチ
クチュ
ギュ
お――い
ギクッ
うふふ
いい子ね
ピチャ
…おなか
すいたでしょう
おいしいもの
作ってきてあげる


おーい
いないのか
行方不明の
女の子捜し
とるんだがー
居たら返事
せんかね――
お――い


……
チチチ…


おいしい？
カチャ
よく噛んで…
はい…
残さず食べるのよ


…一緒にお昼寝したアトで…沢山いじめてあげる
はい…
カサ
カサ…

おわり

監禁凌辱【新装版】

作　者　　桃山 ジロウ

発 行 所　　株式会社松文館
〒203-0053
東京都東久留米市本町1-5-21 7F
©桃山ジロウ/松文館

本書の記事・画像の無断転載は固くお断りいたします。